

2020 年度
年 次 報 告 書

公益財団法人ヤマト福祉財団

目 次

1. 2020 年度事業報告書	1
2020 年度中に実施した助成事業	
Ⅰ. 障がい者に対する奨学金の支給	
Ⅱ. ジャンプアップ助成金	
Ⅲ. ステップアップ助成金	
Ⅳ. 障がい者福祉助成金	
2020 年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム実施報告	
2020 年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告	
新堂塾 4 期、楠元塾 3 期活動報告	
農福連携実践塾の実施報告	
自然栽培パーティ活動報告	
全 A ネット（就労継続支援 A 型事業所全国協議会）の報告	
ネパール小児白内障治療プロジェクトの報告	
復興・再生支援事業	
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』進捗状況	
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』参入施設一覧	
2020 年度「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表	
2. 2020 年度収支決算報告書	61
賃借対照表	
正味財産増減計算書	
正味財産増減計算書内訳表	
財務諸表に対する注記	
財産目録	
附属明細書	
事業報告 附属明細書	
収支決算書	
監査報告書	
3. 2020 年度寄付金寄贈者名簿	75
賛助会員数一覧	
4. 役員名簿	75
5. 2021 年度事業計画書	81
同 収支予算書	
資金調達及び設備投資の見込みについて	

1. 2020 年度事業報告書

2020年度事業報告書

(自・2020年4月1日～至・2021年3月31日)

1. 庶務事項

- (1) 財団設立年月日 1993年9月10日
- (2) 基本財産
投資有価証券
ヤマトホールディングス株式会社(株式)
3,554,500株 6,031百万円
- (3) 役員等
- | | |
|-------------------|----|
| ①理事長 | 1名 |
| ②理事 | 8名 |
| ③監事 | 2名 |
| ④評議員 | 8名 |
| ⑤福祉助成金選考委員 | 5名 |
| ⑥ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員 | 5名 |
- (4) 賛助会員
個人会員 77,674人
- (5) 事務局
- | | |
|-------|----|
| ①常務理事 | 1名 |
| ②事務局長 | 1名 |
| ③職員 | 4名 |

2. 事業報告

本年度は、新型コロナウイルスの影響で「三密」を避けるため当初計画からの変更が相次ぎました。主な活動のひとつである「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」は延期の後、講座や事例報告、シンポジウムを交え福岡、東京、大阪の3カ所の会場編としてオンラインで開催しました。また、今期で8年目に入った「夢へのかけ橋」実践塾は、実地指導・集合研修を中断し、オンラインミーティングを継続しながら、1年間研修期間を延長することになりました。新たに始まった農福連携塾も集合研修を実施後、オンラインでの研修に変更して活動しています。

栽培指導者を派遣して無農薬・無肥料の自然栽培の検証プロジェクトは、「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」発足5年となり、3月末現在、96カ所の福祉施設や販売店が加入しています。また、ヤマト運輸(株)の協力を得て実施している「障がい者のDM便配達事業」は、全国283事業所で1,453名が従事し、社会福祉法人ヤマト自立センターは、2021年3月までに事業開始累計213名の一般就労実績となっています。

(公1)助成事業

①奨学金支給

2020年2月20日から4月10日まで応募書類請求期間、同年4月1日から5月8日を申請期間としていましたが、緊急事態宣言により学校からの推薦状提出が遅れたため、申請締め切り日を5月31日に延長しました。79名の応募に対し選考委員会で11名を選考追加して、40名の奨学生に奨学金を提供しています。

2020年度奨学金選考委員会

2020年6月20日(水) 14:00-16:00 ヤマト銀座ビル7階第5会議室にて開催。
選考追加された奨学生11名は以下の通りです。

氏名	学年	在学大学	在学学部学科
大西 歩	1	帝京大学	文学部 史学科
神谷 歩未	1	日本社会事業大学	社会福祉学部 福祉援助学科
植田 帆乃香	2	茨城大学	農学部 地域総合農学科
岸良 隼人	3	筑波大学	人間学群 障害科学類
横山 莉子	1	慶応義塾大学	環境情報学部
串田 達哉	1	岐阜聖徳学園大学	経済情報学部
藤村 光	2	島根県立大学	人間文化学部地域文化学科
小島 裕太	1	岡山理科大学	生物地球学部 生物地球学科
川添 七海	1	愛媛大学	理学部 理学科
佐藤 千優	1	愛媛大学	教育学部
大城 円香	1	琉球大学	医学部 保健学科

②助成金

今年度も、昨年に引き続き助成金事業を障がい者の給料増額を目的とする「障がい者給料増額助成金」と一般的な福祉助成金の2つに分け、「障がい者給料増額助成金」の中に、ジャンプアップ助成金(定額500万円)・ステップアップ助成金(上限200万円)の2種の助成金を設定しました。2019年10月1日から11月30日までを公募期間として176件の応募があり、2020年3月24日に選考委員会を実施、コロナ感染対策を図りながら同年7月から9月にかけて支部毎にヤマト運輸(株)の協力を得て贈呈式を行いました。

助成部門	応募	決定	助成金額
①ジャンプアップ助成金(定額500万円)	19件	6件	30,000千円
②ステップアップ助成金(上限200万円)	52件	19件	33,770千円
小計	71件	25件	63,770千円
③福祉助成金(会議・出版・文化・スポーツ他)	105件	18件	10,660千円
合計	176件	43件	74,430千円

※助成先一覧 9～19ページ

(公2) 研修・育成事業

① セミナー事業「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」

対象者を施設職員から障がい者の働く場に関心のある方として、コロナウイルス感染拡大状況から会場開催を取りやめ、ヤマト福祉財団から講師や全国の参加者をオンラインで結んで開催しました。全3回で589名が参加し、これまでのセミナー受講者と合わせ累計12,127名となりました。

内容	開催の形式	開催日	参加人数
前年までの累計			11,538
東京会場編	オンラインのみ	9月25日	179
大阪会場編	オンラインのみ	10月2日	152
福岡会場編	オンラインのみ	2月21日	258
合 計			589
累 計			12,127

② 雇用・促進事業

「障がい者によるクロネコDM便配達事業」は、全国283事業所で1,453名の障がい者が配達を行っています。また、社会福祉法人ヤマト自立センターのスワン工舎新座・スワン工舎羽田クロノゲートの就労移行支援事業では、今期12名累計213名が一般就労しました。2011年に立ち上げた就業・生活支援事業では今期は24名の登録者に対して就労支援・就労先での定着支援・金銭管理や一人暮らしなどの生活支援を行い、実習19名、就業者21名の実績をあげています。就労につながった方々との結びつきを図るために開催予定だった第13回スワン工舎卒業者の集いは、コロナウイルス感染拡大により延期となりました。

③ 育成プロジェクト

ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者によるプロジェクトとして2010年より始まった受賞者リーダープロジェクト「夢へのかけ橋実践塾」は、本年度 新堂薫氏（第9回受賞者）を塾長とする封かん・封入サービス塾4期生10名、楠元洋子氏（第13回受賞者）を塾長とする弁当・配食サービス塾3期生10名がそれぞれコロナウイルス感染拡大の影響で集合研修と取りやめ、オンライン研修によってPDCAサイクルを回しています。このような現状から塾生の研修期間を一年間延長することとしました。9月10～11日には熊田芳江氏（第14回受賞者）を塾長とする農福連携実践塾が福井県あわら市で開講式し、講師の林博文氏（第16回受賞者）が理事長であるNPO法人ピアファームのナシ園、ブドウ園にて現地研修会を行いました。また、水稻自然栽培検証プロジェクトより発展した「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」は発足5年となり、10月9日に北海道余市郡で第5回自然栽培パーティ全国オンラインフォーラムを開催しYouTubeで全国へ配信しました。

(公3) 表彰事業

障がい者の経済的な自立やノーマライゼーションに貢献した個人を表彰するため、本年もヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈事業を行いました。7月1日から9月15日まで公募を行い、10月12日の選考委員会で、三重県伊賀市の奥西利江氏と北海道白老郡白老町の佐藤春光氏に受賞が決定しました。また、贈呈式はコロナウイルス感染防止対策として12月3日に一般社団法人日本工業倶楽部よりライブ配信いたしました。贈呈式の模様は現在もYouTubeにて視聴することができます。

(公4) 広報・啓発等事業

① 広報事業

◆ ヤマト福祉財団NEWS

財団ニュースを第66号から第69号まで年4回発行し「コラボメール便」としてヤマトグループ健康保険組合と共同で社員自宅まで配布しました。また、一般購読希望者 878名と福祉施設作業所4,263ヵ所に無料配布を行いました。施設のリモート取材や奨学生のリモート座談会のレポートに加えて、オンラインで開催したパワーアップフォーラム、ヤマト福祉財団小倉昌男賞など財団主催の行事、リモートで実施した実践塾の様子など取材方法に工夫して紙面を制作しました。

◆ 事業モデル別実践事例サイトの運用

ヤマト福祉財団小倉昌男賞や助成金の事例、実践塾の成果を資料化して福祉施設の経営者が施設の利用者増や工賃向上に役立つビジネスモデルを参照できる「経済的自立力達成事業所紹介サイト 夢へのかけ橋」をインターネット上に公開しています。このサイトでは、障害基礎年金と合わせて、年収112万円の貧困線を越えることのできる工賃3万円を超えた事業所を経済的自立力達成事業所として紹介しています。本年度はコロナウイルスの影響により事業所の取材と追加を行うことができませんでした。

② 啓発事業

毎年全国で何ヵ所か開催する障がい者本人によるクロネコDM便配達特別報告会は、コロナウイルス感染問題により、本年度は開催を見合わせました。

③ その他

◆ 全Aネットによる「良き就労継続支援A型事業所の拡大支援事業」

全国のA型事業所の経営の健全化をはかり、働く障がいのある人のディーセントワークの実現を一層進めるため、NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会（全Aネット）による優良A型事業所認定制度を昨年構築しました。本年度は、申請があった事業所を選考するための審査、認定委員会の開催に対して助成しました。加えて、授与式および認定制度の広報を目的に、静岡、沖縄、東京の3ヵ所で開催した就労支援セミナーについても助成しました。なお、新型コロナ感染拡大に伴う影響により、ハイブリッド形式の開催となりました。

◆ 自然栽培パーティーのイベント「ハレバレごはんプロジェクト」への特別支援

ヤマトグループ創立100周年記念配当金を原資として、自然栽培パーティーが企画したコロナ禍で大変な思いをしている多くの人や医療従事者などに農福師が自然栽培で育てた農作物で元気を送る「ハレバレごはんプロジェクト」に特別支援しました。

◆ 日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業

「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するNGOパラレルレポートの準備活動と国内啓発活動に対し公益財団法人助成財団センターを窓口として、前年に引き続き他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートしています。

◆ ネパール小児白内障眼科医療に対する協力事業

2017年度から2019年度まで3年間の活動の記録を冊子にまとめ12月15日に発刊しました。なお、本年度は新型コロナ感染拡大に伴う影響によりネパールでの活動は差し控えました。

◆ パラリンピック開催への協力

本年度はコロナウイルスの影響によりパラリンピックが延期となったため、次年度に繰り越すこととなりました。

(公5)復興・再生支援事業

2020年7月に発生した九州地区豪雨で被災した障がい者施設の復興再生を支援するため、特に被害の甚大だった熊本県人吉市内3件の障がい者施設に対して下記のとおり総額500万円の災害助成金を贈呈しました。また、12月11日には人吉市社会福祉協議会会議室にてヤマト運輸労働組合熊本支部渡邊委員長をお招きして助成金贈呈式を開催しました。

団体名	助成対象	助成金額
社会福祉法人 白いキャンパス福祉会	施設復旧改修工事 自己負担分 1/4	4,080,000円
地域生活センター翠	面談室兼作業場用倉庫設備工事	420,000円
一般社団法人 Gutsサンサイド事業所	送迎用軽車両(中古車)購入	500,000円

■ 賛助会員の状況

当財団の母体であるヤマトホールディングス(株)とそのグループ会社で組織する賛助会員数は77,674人となっています。

2020年度中に実施した助成事業

I. 障がいのある大学生への奨学金の支給

■ 障がい者大学生 40名

	大学名	学 年	氏 名
1	京都大学	4年生	油田 優衣
2	宮城大学	4年生	幸谷 圭都
3	東京大学	4年生	杉本 優太
4	兵庫県立大学	4年生	永瀬 紗織
5	県立広島大学	4年生	多留 陽葉
6	島根大学	4年生	松崎 桃佳
7	筑波大学	4年生	奈良場春輝
8	金城学院大学	4年生	杉浦 有紀
9	京都府立大学	4年生	板 隆史
10	園田学園女子大学	4年生	川里 茅礼
11	島根大学	4年生	藤原 歩未
12	立命館大学	4年生	首里 昌毅
13	桜美林大学	3年生	高橋 慧
14	筑波技術大学	3年生	杉崎 雄大
15	首都大学東京	3年生	渡辺 麻姫
16	東京農業大学	3年生	池内 風香
17	東京農業大学	3年生	石黒 舞
18	武蔵野美術大学	3年生	濱田この実
19	広島大学	3年生	三浦 良介
20	国際医療福祉大学	3年生	黒岩 晃

	大学名	学 年	氏 名
21	東北大学	3年生	伊藤 瑞輝
22	日本大学	3年生	瀧 楓花
23	筑波大学	3年生	岸良 隼人
24	札幌大学	2年生	山田 悠稀
25	筑波大学	2年生	杉山 寛大
26	日本大学	2年生	鈴木 海人
27	日本大学	2年生	成嶋セルジオ正章
28	東京大学	2年生	奥田祥太郎
29	東京大学	2年生	菅田 利佳
30	東洋大学	2年生	中村 美彩
31	茨城大学	2年生	植田帆乃香
32	島根県立大学	2年生	藤村 光
33	岡山理科大学	2年生	小島 裕太
34	帝京大学	1年生	大西 歩
35	日本社会事業大学	1年生	神谷 歩未
36	慶応義塾大学	1年生	横山 莉子
37	岐阜聖徳学園大学	1年生	串田 達哉
38	愛媛大学	1年生	川添 七海
39	愛媛大学	1年生	佐藤 千優
40	琉球大学	1年生	大城 円香

Ⅱ. ジャンプアップ助成金

助成先

1

岐阜県海津市 やろまいか | 就労継続支援B型



■ ヨモギ加工処理と新商品開発のための工場改装工事

■ 助成金：5,000,000円

やろまいかは、B型作業所として、養鶏・製菓・古本のインターネット販売などを行っています。中でも草餅の製造販売は多い日には3,000個をつくり、売上全体の80%を占める主力事業です。天然のヨモギにこだわり、利用者の手作りで「美味しくてお値打ち」と口コミで広がり、販売先は道の駅・大手スーパーなどを含めて14カ所になりました。

売上が増大するにつれ、製造の衛生管理や、ヨモギの確保など課題もあります。その解決のため助成金でヨモギ加工品の製造・研究施設の「楽山よもぎ工房」を開設しました。工房では1日5,000個を製造できる設備で、ヨモギの洗浄や選別、ヨモギを使った新商品の開発などにも取り組み、売上・利用者工賃の増額を図ります。

助成先

2

静岡県三島市 就労継続支援B型事業所アルシオン | 就労継続支援B型



■ 施設の改修と台車等の購入等

■ 助成金：5,000,000円

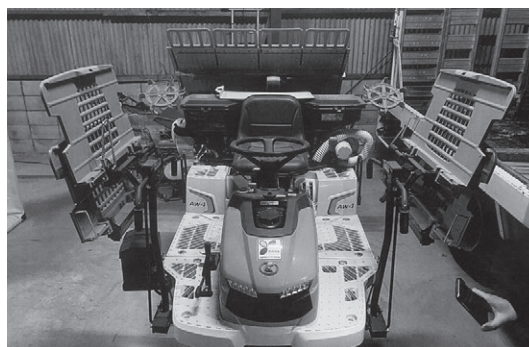
アルシオンでは、3年前からJA三島函南・三島市・農家と農福連携事業を行っています。

そのなかでJA三島函南より地元で廃業した農家のきのこ栽培事業を継承する提案があり、助成により老朽化した施設を改修しました。2020年10月に4,000個の菌床を入れ栽培作業を開始。販売用のラベルもできあがり、1月に「しいたけヤマト君」が地元のスーパーや居酒屋に初出荷となりました。きのこ栽培の専門的な技術指導は、廃業農家から受け、販路も沼津中央青果やJA三島函南のほか地域へも広がっていきます。栽培から収穫、パック詰めまで利用者さんの力を発揮し、工賃5万円に向上させることを目指します。

助成対象事業の内容および助成額

3

岡山県美作市 スタート・ワーキング・サポート | 就労継続支援A型



- 農業機械の導入資金
- 助成金：5,000,000円

スタート・ワーキング・サポートでは、繊維加工、自動車部品検査、農業、圧着端子検査などの作業を行っています。農業については地元農家のご厚意により田植え機などを借用して作業を行ってきました。しかし、借用であるために使用時期が遅れるなどの課題もあり、それを解消するために助成金で5月の田植えに間に合うよう、田植機・コンバイン・ビーンスレッシャーを購入。小回りがきき反応も良く操作がしやすく、オート機能性能も格段にあがっているため、利用者にも安全に操作ができます。これにより作業時間が多くとれることで、耕作放棄地などへの作付けも手掛け、農家の人手不足の手助けもできるようになります。工賃は13万円を目指します。

4

広島県呉市 やすらぎ作業所 | 就労継続支援B型



- 作業部屋の改修・車両の購入
- 助成金：5,000,000円

広島県は全国一のレモン生産量を誇り、その需要も年々高まっています。しかし農家の離農や高齢化によって耕作放棄地が増加し人手不足の現状です。やすらぎ作業所では、知り合いの農園さんから人手が不足しているレモンの加工作業（収穫・枝の剪定、計量、袋詰め、搾汁、黒点・内袋取り、箱詰め、発送など）を紹介され作業所として力を注いでいます。助成金により売上を伸ばすため、手狭になった作業場を改修しました。さらに生産効率を上げるため、車で片道40分ほどかかる農園まで移動できる車を購入しました。

安心・安全な広島のレモン加工作業を拡大することによって売上を向上し、平均工賃5万円を目指します。

5

熊本県熊本市 くまもと障害者労働センター | 就労継続支援B型



■ 弁当事業拡大に向けての設備整備資金

■ 助成金：5,000,000円

くまもと障害者労働センターでは、3年前まではカフェの運営、菓子製造、販売の3部門で事業を行っていました。しかし熊本地震により被災しカフェの運営から弁当事業へ転向。現在では1日80食まで増加してきましたが、旧カフェの設備をそのまま使用しているため動線や設備に課題があります。そこで法人として新しく作業場を建設、助成により厨房機器のスチームコンベクション、IHジャー、ラピッドチラーなどを設備しました。昨年度から法人職員が財団の弁当・配食サービス塾に参加し、弁当製造のノウハウ習得と売上増に取り組んでいます。2021年1月25日より、新しい作業場で弁当製造を開始。準備が整い、1日300個の弁当製造・販売を目指しています。

6

大分県大分市 就労継続支援B型事業所ジョイファーム大分 | 就労継続支援B型



■ アルコール冷凍機および冷凍庫の購入資金

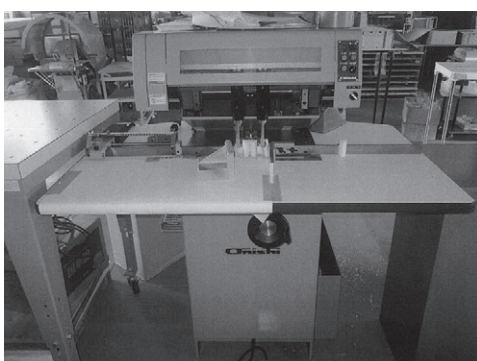
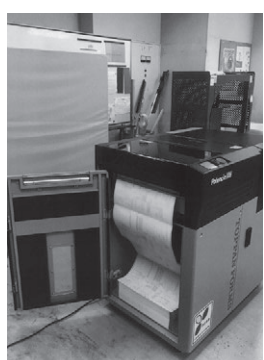
■ 助成金：5,000,000円

合同会社ジョイファーム大分が運営するB型事業所では農産物（イチゴ、イチジク、ナシ、プラム、キウイ）の生産、加工、販売に取り組んでいます。2018年に、合同会社ジョイファームが「県内初！国内産きくらげ栽培を活用した障害者就労支援事業への取り組み」で大分県経営革新事業の認証を受け、翌年からB型事業所でキクラゲ生産を開始。

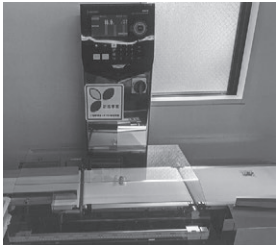
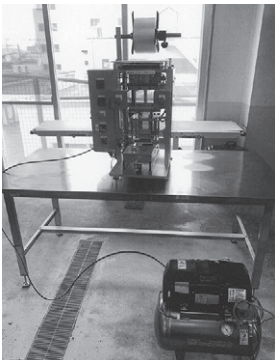
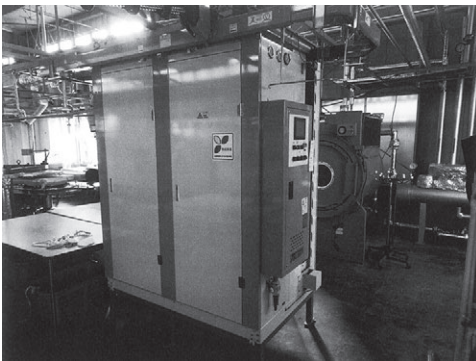
現在流通するキクラゲの98%が中国産であり、国内産はほとんどありません。助成によりアルコール冷凍機・冷凍庫を導入。特殊な冷凍技術で、味と食感そのままに流通することができるようになりました。ホテルや高級レストランだけでなく、大分から全国、世界の食卓にキクラゲを届け、利用者工賃をアップしていきます。

Ⅲ. ステップアップ助成金

助 成 先	助成対象事業の内容および助成額
1 北海道岩見沢市 patisserie空香	  ■ カスタード自動製造機械の購入資金 ■ 助成金：2,000,000円
2 青森県五所川原市 ワークセンター つばき	 ■ メール配達車両 購入資金 ■ 助成金：1,000,000円
3 宮城県仙台市 太白区 わらしべ舎 西多賀工房	  ■ 充填機の購入資金 ■ 助成金：1,000,000円

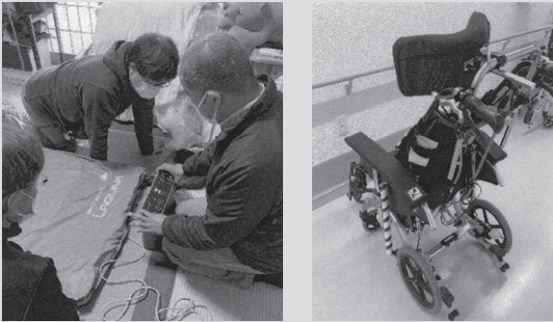
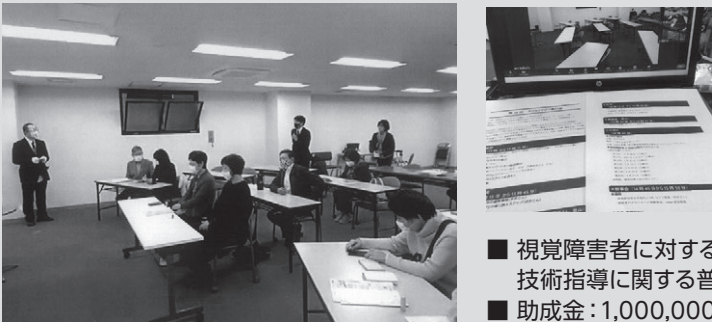
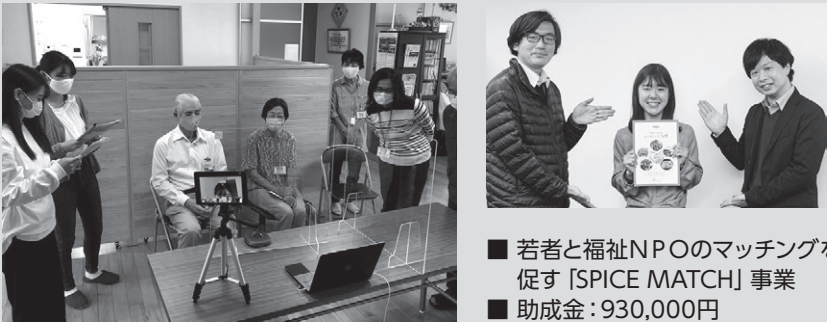
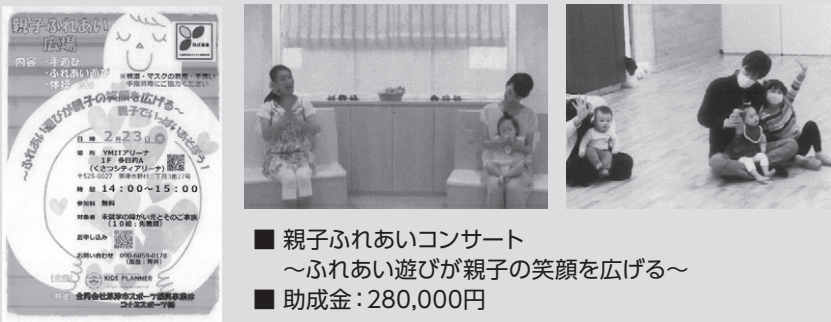
助 成 先	助成対象事業の内容および助成額
4 埼玉県日高市 むさしの 日高作業所	  ■ 自動2連ドリル穿孔機 購入資金 ■ 助成金：1,950,000円
5 千葉県茂原市 カレンズ	  ■ ドウ・マスター（パン生地発酵調整器）・ 焼ドーナツ用コンベクション購入資金 ■ 助成金：2,000,000円
6 神奈川県横浜市 緑区 カフェベーカリー ぷかぷか	  ■ 電解水生成装置 購入資金 ■ 助成金：820,000円
7 東京都東村山市 トーコロ青葉 ワークセンター	  ■ 連続帳票の断裁機 購入資金 ■ 助成金：2,000,000円

	助成先	助成対象事業の内容および助成額
8	東京都世田谷区 パイ焼き茶房	■ イベント開催に必要な機材購入と設置資金 ■ 助成金：2,000,000円
9	愛知県愛西市 ワークステーション 夢んぼ	■ 自動刺繍機購入資金 ■ 助成金：2,000,000円
10	愛知県長久手市 就労支援 舞星ジョブ長久手	■ 2kg釜の珈琲豆焙煎機の 購入資金 ■ 助成金：2,000,000円
11	三重県松坂市 八重田ファーム	■ ハウス内の高設栽培設備資金 ■ 助成金：2,000,000円

助 成 先	助成対象事業の内容および助成額
12 大阪府東大阪市 すぷらうと	  ■ 自動検品ラインおよび電子個数秤購入資金 ■ 助成金：1,990,000円
13 大阪府東大阪市 ハイワークひびき	  ■ バンノーカップシーラー機一式の購入資金 ■ 助成金：1,500,000円
14 愛媛県八幡浜市 八幡浜市障害者施設 いきいき プチファーム	 ■ マーマレード製造におけるガラス瓶用殺菌庫購入資金 ■ 助成金：1,500,000円
15 高知県香美市 ワークセンター 白ゆり	  ■ ユニフォーム仕上げ機購入資金 ■ 助成金：2,000,000円

助 成 先	助成対象事業の内容および助成額
16 福岡県筑紫野市 さるびあ作業所	  ■ 厨房整備、備品購入資金 ■ 助成金：2,000,000円
17 福岡県糸島市 大地の恵み	   ■ 製粉機・野菜カット機械購入資金 ■ 助成金：2,000,000円
18 鹿児島県西之表市 風の街	   ■ POSシステムレジ 導入資金 ■ 助成金：2,000,000円

IV. 障がい者福祉助成金

助成先	助成対象事業の内容および助成額
1 研修 宮城県仙台市 太白区 仙台西多賀 エンジョイライフ ステーション	 ■ 障がい者のための ポジショニング研修会 ■ 助成金：500,000円
2 研修 千葉県四街道市 千葉県 アイパートナー 協会	 ■ 視覚障害者に対するスマホ活用 技術指導に関する普及事業 ■ 助成金：1,000,000円
3 啓発 神奈川県横浜市 中区 NPO法人 アクションポート 横浜	 ■ 若者と福祉NPOのマッチングを 促す「SPICE MATCH」事業 ■ 助成金：930,000円
4 講演会 神奈川県横浜市港 北区 キッズ プランナー	 ■ 親子ふれあいコンサート ～ふれあい遊びが親子の笑顔を広げる～ ■ 助成金：280,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

講演会

東京都新宿区

認定NPO法人
日本障害者
協議会



- 国際障害者年 前夜からの40年をたどり未来を展望する集い
- 助成金：650,000円

調査

東京都中野区

特定非営利
活動法人
Next Seeds



- 若年性認知症当事者インタビューに基づく課題可視化と社会啓発事業
- 助成金：500,000円

出版

東京都豊島区

一般社団法人
全国心臓病の
子どもを守る会



- 「心臓病児者をささえる社会保障制度」2020年版製作事業
- 助成金：500,000円

講演会

愛知県名古屋市中区

特定非営利活動
法人ドリーム



- 脳卒中障害者が社会参加の一步を踏み出すための講演会
- 助成金：500,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

9

啓発

京都府京都市
右京区

NPO法人
京都難病支援
パッションネ



- 第3回難病カフェ
パッションネ開催費用
- 助成金：200,000円

10

スポーツ

大阪府大阪市
中央区

認定特定非営利
活動法人プール・
ボランティア



- ヘルプマーク・スイムキャップ全国無償配布事業
- 助成金：960,000円

11

出版

奈良県奈良市

自立生活
支援センター
フリースタイル21



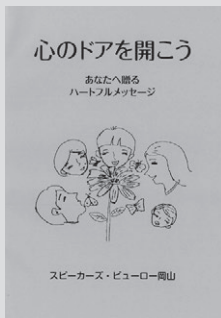
- 障害者をはじめ誰もが安心して奈良観光ができるように
情報提供を行う事業
- 助成金：850,000円

12

出版

岡山県岡山市北区

スピーカース・
ビューロー岡山



- 「心のドアを開こう」出版事業
- 助成金：200,000円

2020年度 障がい者の働く場 パワーアップフォーラム実施報告

2020年度テーマ | 「人は自立して生活することで幸せを感じられる」

※ 1. 実施報告

より幅広い参加者を迎え、日帰りで参加することのできる「パワーアップフォーラム」を毎年開催してきました。今年はコロナウイルス感染拡大のため急遽オンラインセミナーの開催となり、より多くの方が参加できるよう財団理事長室をスタジオにして全国に発信しました。

今年のテーマは3会場共通で「人は自立して生活することで幸せを感じられる」です。

財団の山内理事長の講演、きょうされんの藤井専務理事による時流講座、小倉昌男賞受賞者による講演、実践報告、シンポジウムとプログラムを進行しました。

現在、コロナウイルス禍という大きな脅威に直面し、健康、経済、福祉は困難にさらされています。この困難と向き合ううえで、働く場にかくことのできない「障害者の権利」やディーセントワークの理念をはじめ、みなさまと一緒に考え学ぶことのできる一日としました。

※ 2. プログラム内容

2020年 9月25日(金) 東京会場編

10:00	主催者挨拶	
10:10	講演①	クロネコヤマトの満足創造経営 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 山内 雅喜
11:00	講演②	時流講座 「障がいのある人のディーセントワーク」 NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井 克徳
11:50	休憩(70分)	
13:00	講演③	障がいのある方が高品質を 極めるために 社会福祉法人はらから福祉会 理事長 武田 元
13:40	講演④	お弁当・高齢者向け 配食サービスに夢を託して 社会福祉法人キャンパスの会 理事長 楠元 洋子
14:20	助成金 ガイダンス	
14:45	休憩(15分)	
15:00	実践報告 報告①	障がいのある人と働くこと 社会福祉法人亀岡福祉会 第三かめおか作業所 施設長 日下部 育子
	報告②	自分の思っているいはたらくば 一般社団法人おひさま いはたらくばトポス 施設長 小林 綾子
15:30	シンポジウム	テーマ： 人は自立して生活することで 幸せを感じられる シンポジスト／武田 元 楠元 洋子 日下部 育子 小林 綾子 コーディネーター／藤井 克徳
16:30	終了	

※ 2. プログラム内容

2020年 10月2日(金) 大阪会場編

10:00	主催者挨拶	
10:10	講演①	クロネコヤマトの満足創造経営 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 山内 雅喜
11:00	講演②	時流講座 「障がいのある人のディーセントワーク」 NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井 克徳
11:50	休憩 (70分)	
13:00	講演③	「知的障がい者の自立を支えて」 チャレンジャーの今 社会福祉法人武蔵野千川福祉会 常務理事 新堂 薫
13:40	講演④	家族の温かみを感じるために NPO法人ENDEAVOR EVOLUTION 理事長 松浦 一樹
14:20	助成金 ガイダンス	
14:45	休憩 (15分)	
15:00	実践報告 報告①	受注回復の取り組み 社会福祉法人ゆたか福祉会 ワークセンターフレンズ 星崎 副所長 稲垣 伸治
	報告②	誇りをもてるしごとづくり NPO法人ふくおか福祉 とびうめ会 代表理事 福本 慎吾
15:30	シンポジウム	テーマ： 人は自立して生活することで 幸せを感じられる シンポジスト／新堂 薫 松浦 一樹 稲垣 伸治 福本 慎吾 コーディネータ／藤井 克徳
16:30	終了	

2021年 2月19日(金) 福岡会場編

10:00	主催者挨拶	
10:10	講演①	クロネコヤマトの満足創造経営 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 山内 雅喜
11:00	講演②	時流講座 「障がいのある人のディーセントワーク」 NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井 克徳
11:50	休憩 (70分)	
13:00	講演③	「これからのがんばカンパニー」 ソーシャルファームの可能性 社会福祉法人共生シンフォニー 常務理事 中崎 ひとみ
13:40	講演④	障がい者の働く機会と場を創る 支援の重要性 ～精神障がい者の生活・就労支援 活動から～ 東京家政大学 名誉教授 上野 容子
14:20	実践報告 報告①	「自然栽培パーティ」は 障がいのある人をどう変えたか 一般社団法人 自然栽培パーティ 全国協議会 理事長 磯部 竜太
	報告②	「なごや招福肉まん」ができるまで 社会福祉法人みなと福祉会 わーくす昭和橋 副所長 岡本 靖史
15:00	休憩 (15分)	
15:15	シンポジウム	テーマ： 人は自立して生活することで 幸せを感じられる シンポジスト／中崎 ひとみ 上野 容子 磯部 竜太 岡本 靖史 コーディネータ／藤井 克徳
16:30	終了	

東京会場編 2020年9月25日

東京会場編の講師は、はらから福祉会の武田氏とキャンパスの会の楠元氏です。武田氏は、「障がいの重い軽いに関係なく一緒に働けるチーム化。難しい作業も利用者さんが参加できる機械化。働く環境を整えて、一人もおいていくことなく、高い給料を支払う」ことがはらから福祉会の目標だと話します。夢へのかけ橋実践塾の弁当・配食サービス塾長である楠元氏は「コロナ禍の厳しい状況でも、テイクアウト食は需要が伸びている。日常をよく観察することで、アイデアも新たな可能性も広がる」。利用者さんのためにコロナに負けていけないと伝えました。

実践報告では夢へのかけ橋実践塾の卒業生である、第3亀岡作業所の日下部氏、いいはたらく場トポスの小林氏が登壇。実践塾での学びとその成果を報告しました。



大阪会場編 2020年10月2日

大阪会場編で最初に登壇したのはDMの封入封かんを複数の事業所で展開する武蔵野千川福祉会の新堂氏です。「利用者さんの働く力を伸ばすには“意識を変える”ことが必要。自分たちの仕事は何に役立っているのか見える工夫が必要」と話します。京都からオンラインで登壇した松浦氏は、施設外就労に特化した仕組みで一般就労へのステップアップを実現しています。「仕事を提供するだけでは福祉とは呼べません。家族のような悩みを共有できれば本当に必要とされる支援ができます」という言葉が印象に残りました。

実践報告ではゆたか福祉会の稲垣氏がコロナ禍での取り組みを、ふくおか福祉とびうめ会の福本氏は、ペットフード関連で売上を拡大する取り組みについて報告しました。



福岡会場編 2021年2月19日

2020年度のパワーアップフォーラムの福岡会場編には、多い時間帯では約400名の視聴者の参加がありました。講演には共生シンフォニーの中崎氏が登壇。ソーシャルファームの考え方に触れ「障がいのある人だけでなく、さまざまな就労困難者が増えている中で、気づいた人が動いて地域を変える活動が必要」と話します。精神障がい者の支援をしている方に向けて「一般企業就労がすべてではない。障がいの特性に合った働き方を追求すべき」と東京家政大学名誉教授の上野氏は支援者へエールを送りました。

実践報告では自然栽培パーティの磯部氏が「農福」の魅力について「食や環境に直結し、地域に必要とされる活動」だと話します。みなと福祉会の岡本氏は売上2,000個を目標にしていた肉まんが4万個を販売した挑戦の物語を報告しました。



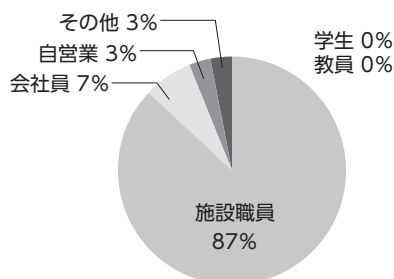
3. 実施日・場所・人数

開催日	会場	開催方法	参加人数
9月25日	東京会場編	オンライン	179名
10月2日	大阪会場編	オンライン	152名
2月21日	福岡会場編	オンライン	258名
合 計			589名

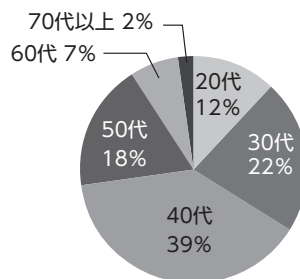
4. 2021年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム 参加者の傾向

※アンケート回答者 187名

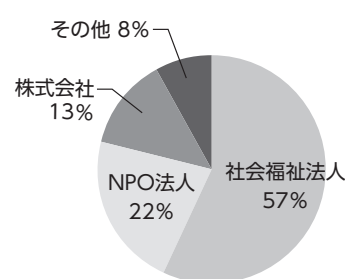
職業



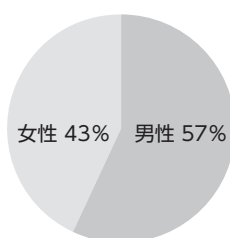
年齢



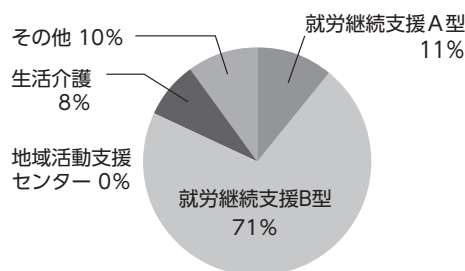
所属



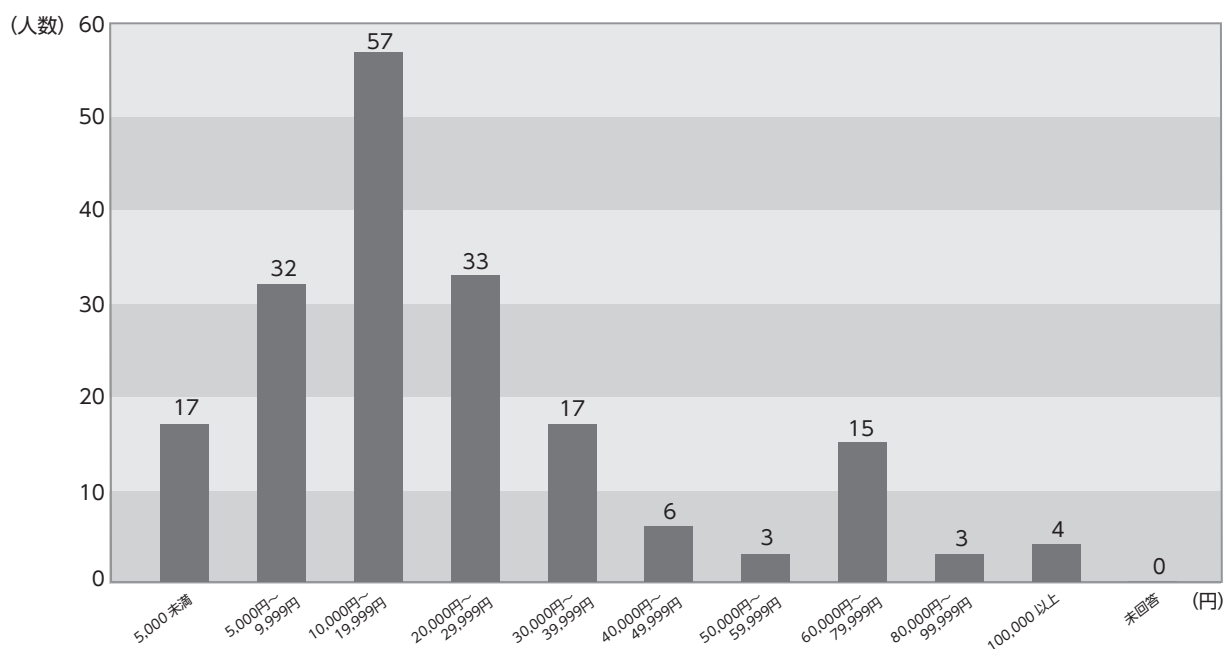
性別



事業区分



参加施設の平均給料の分布



2020年度 「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告

※ 1. 夢へのかけ橋 実践塾とは

「夢へのかけ橋 実践塾」は、夢へのかけ橋プロジェクトのテーマ“経済的自立力を備えた新しい福祉”に向かって行動を起こす施設を塾生とし、利用者さんの給料増額という目的を達成するための研修会です。2020年度は、2塾・20名の塾生が「1年後3万円、2年後5万円」への給料増額を目指し、事業改革に取り組みました。

コロナ禍での影響を配慮し、「楠元塾（第3期）」の10塾生、「新堂塾（第4期）」の10塾生は、1年間延長して2019年9月～2022年9月の3年間にわたり研修を行うことになりました。

※ 2. 研修内容

各塾は独自に研修会、見学会、勉強会、塾長による塾生施設の視察などを開催し、塾生一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できる取り組みを目指しています。また、複数の塾が一つの会場で合同研修会を開くことにより、互いに情報交換を行う機会も提供し、給料増額の目標達成につながる効果も狙っています。

- 販路拡大や商品開発など営業に関する新規事業や改善について事業プランを作成。
- 2年間を通じて合同研修をはじめ、塾ごとに研修会や勉強会を開催し、自分の目標の進捗や他参加者の進捗などを確認。
- 先行している施設より現場の課題などを説明。
- グループディスカッション・合同パネルディスカッションなども取り入れる。
- 2年間、PDCAサイクル手法を実行して成果を出す。

※ 3. 夢へのかけ橋 実践塾 全体のスケジュール

新型コロナウイルス感染対策として、2020年4月に最初の緊急事態宣言が発出され（同年5月までの約1ヵ月半）、2021年1月には2回目も発出（同年3月までの約2ヵ月）されました。そのため、研修会はオンラインでの開催を余儀なくされ、塾の活動が実施できないため、1年間の延長が決定しました。

	新堂塾（第4期）	楠元塾（第3期）
2020年 4月		● オンライン研修会（第1回） （2020年4月27日）
5月		
6月	● オンライン勉強会（第1回） （2020年6月19・26日）	
7月		
8月		
9月		
10月		● オンライン研修会（第2回） （2020年10月26日）
11月		● 塾長視察 （2020年11月9日） はたらく工房 むぎのね
12月		
2021年 1月		
2月	● オンライン勉強会（第2回） （2021年2月2日）	
3月	● 新堂塾 第3回研修会 （2021年3月24・26日）	● オンライン研修会（第3回） （2021年3月18日）

新堂塾 (第4期)



新堂塾は、生産効率を高めるライン化の実現で給料増額を目指しています。塾長である(社福)武蔵野千川福祉会の新堂常務理事は「ライン化とは、いままで一人で行っていた仕事を、いくつかの工程に分け、複数人で分担作業することで生産性を上げ、売り上げを伸ばすこと」と伝え、塾生は働く環境の改善、ビジネスマナー、お客様へのアプローチなど総合的な改善に取り組んでいます。

●塾長：(社福)武蔵野千川福祉会 常務理事 新堂 薫氏

○略歴

1985年、千川作業所に指導員として就職。1987年のチャレンジャー設立とともに異動し、1999年に同施設長に就任。社会福祉士。2010年9月～2013年3月『障がい者の働くちから革新塾(第1期新堂塾)』塾長。2013年9月～2015年9月『夢へのかけ橋実践塾 新堂塾(第2期)』塾長。2016年9月～2018年9月『新堂塾(第3期)』塾長。2019年9月～『新堂塾(第4期)』塾長。第9回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞(2008年度)。

塾長の 名言

「コロナ禍でも`利用者さんのために、その原則は変わらない」

「コロナ禍で従来のように仕事を受注できず、困惑している塾生もいると思います。それでも、`利用者さんにわかりやすい、働きやすい職場づくり、という原則は不変です。いまこそ改めて基本的なことから見直し、目の前の課題に一つひとつ取り組んでいくようにしましょう」

新堂塾：10施設 (2021年3月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容(要旨)】	【取り組みたい事業(要旨)】
(NPO) ふくおか福祉とびうめ会	就労継続支援事業所とびうめワークセンター	就労継続B型	ペットショップの清掃、ペット用バンダナ・無添加おやつ製造、販売	ペット用バンダナ・無添加おやつ事業の拡大
(社福) 北九州障害者福祉事業協会	とりはた玄海園就労センター	就労継続B型・就労移行・定着支援	印刷作業、おやつ製作、下請け作業、清掃作業	印刷作業の充実
(社福) つくしの里福祉会	第2つくしの里	就労継続B型・生活介護	パン・クッキー・プリントクッキー製造販売	プリントクッキー事業の拡大
(一社) あんずの森	就労継続支援多機能事業所 あんずの森	就労継続A型・B型	下請け作業(アメニティセット、タオル袋詰め)清掃、農業	現在の仕事の収益改善、自社商品開発
(社福) 南風荘	就労継続支援事業B型 セルブ藤山	就労継続B型	ウエス製造、企業のトイレ清掃	ウエス事業のさらなる拡大
(社福) やぎ	八木園	就労継続B型	クリアファイルのチラシ封入、自主製品(縫製小物)	低単価の作業を整理し高単価の仕事受注
(社福) 五倫会	太陽の郷	就労継続B型・生活介護	施設外就労(除草作業他)、DM作業、缶分別作業、農作業、惣菜	DM作業の拡大
(社福) 修光学園	ワークセンター Halle !	就労継続B型	製菓事業、紙器加工事業	紙器加工事業の拡大
(社福) 日本キリスト教奉仕団	東京都板橋福祉工場	就労継続A・B型・就労移行	DM封入・封緘、ベーカリー、レストラン、自主製品(プリント事業)	DM事業の拡大
(社福) 武蔵野千川福祉会	ワークイン関前	就労継続B型	DM封入・封緘事業	DM事業について作業環境づくり、生産性向上

新堂塾（第4期）活動報告

※ オンライン勉強会（第1回）

● 日 時：2020年6月19・26日

● 開催方法：Zoomミーティング

新型コロナウイルスの感染拡大により、全国各地にいる塾生たちが、一堂に会することは困難となっています。本来であれば、新堂塾長が塾生施設を訪ね、現場を視察・指導にあたりたいのですが、それもままなりません。現状では、全員が安全に、無理なく参加できるZoomによる開催がベターであると判断。そこで、6月19・26日にオンライン勉強会を開き、近況報告と情報共有を行うことにしました。

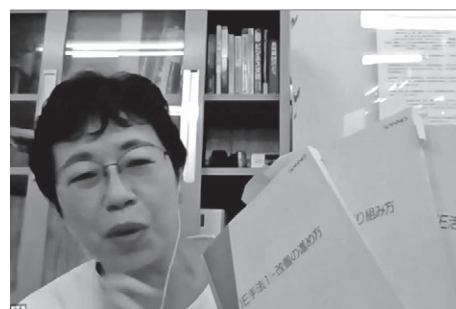
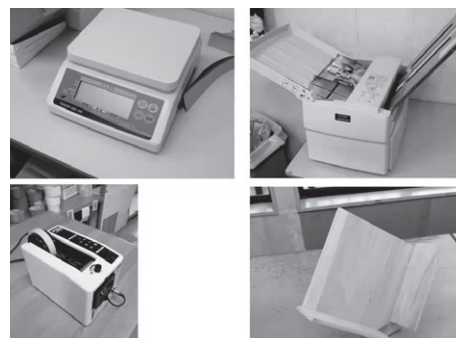
初日は新堂塾長が現状を報告。「緊急事態宣言が解除され、私の施設も5月からやっと全利用者さんが通所できるようになりました。現在は、消毒・手洗い・うがいなど感染予防を徹底し、食事にも密にならないように2回に分けて行っています。

仕事は、コロナ禍でイベントの自粛により、DM広告は減りました。それでも定期的な仕事は入って来ていますし、コロナ禍を反映しマスク発注の仕事も受注しています。いままでに比べ変動はありますが、焦らずにポチポチとやっている感じですね」と伝えました。

続いて行った塾生たちの近況報告では「幸い感染者は出ていませんが、仕事が減ってしまい、通所しても働く時間が少なく給料が減ってしまいました」「やっと受けた仕事も作業の途中で中止になることも」「売上が大幅に落ち挽回したいのですが、いままでのように営業ができない」など、画面に映る塾生たちの表情に不安の色は隠せません。それでも「3密を避けて、2mほど離れて作業できるようにラインを組み直しています」「この機会に利用者さんにDMの封入作業の仕事を勉強してもらい、新たな仕事の開拓の準備を進めています」という前向きな報告も。

アドバイザーの菅野先生は「私は、この春に大学の教授を退き、新たなスタートを切りました。すぐにでも各施設に伺い、直接、アドバイスしたいのですが、いまは難しいですね。みなさんは少しでも仕事を受注したいと気持ちも焦っていると思いますが、まずは利用者さんがより仕事ができるようになるよう、指導にあたってください。いまだからこそできることを、やってほしいと思います」とアドバイスしました。

事業所内での研修の方法を教えてほしいという質問に、新堂塾長は、つねにご自身が参考にされているテキストを紹介。「たった4ヵ月前の2月、みなさんに私の施設・チャレンジャーを見学してもらいましたが、誰もがこんな状況になるとは思わなかったですね。いまはだれもが先が見えない不安を抱えています、それでも、少しずつやるべきことをやって、次に向かえる備えをしてください」と塾生たちに励ましの言葉を掛けました。



■ オンライン勉強会（第1回）の内容

日 程	プログラム
6月19日	■ 新堂塾長・菅野先生近況報告
	■ 塾生近況報告
6月26日	■ 塾生近況報告
	■ 質疑応答

※ オンライン勉強会 (第2回)

- 日 時：2021年2月2日
- 開催方法：Zoomミーティング

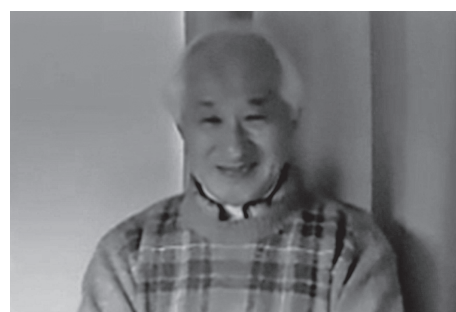
年末より感染者数が増加し、年明け早々に2回目の緊急事態宣言が発出。再び大きな不安に包まれた塾生たちを憂慮し、新堂塾では、2月2日に第2回目のオンライン勉強会を開催しました。

Zoomに慣れて来た塾生たちは、前回に比べリラックスした雰囲気の中で近況を報告。しかし、塾生施設を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。

「毎年この時期にいただいていたDMの仕事がなくなりました」「利用者さんが配達・回収に行かないことで生産量が下がったが、販売できず在庫を抱えてしまっている」「売上の柱のお土産の箱づくりが激減した」など、多くの塾生が、今後どう改善し、営業していけば良いのかと頭を抱えています。

そんな中、ペットフード事業に取り組む塾生が順調に売上を伸ばしていると報告。みんなも始めてみてはどうか、と提案があり、次の研修会で検討することになりました。

最後に、新堂塾長が「7月にアドバイザーの菅野先生を法人の理事長にお迎えし、改めて法人内の基本的なところに立ち返った学習会を行っています」と報告。菅野先生は「物の流れ、人の動きを考えて、作業機のレイアウトや搬入物をどこに置かなどを、もう一度見直していきましょう。問題点を指摘されたらすぐに変えることが一番大切です。すぐに変える、その意味を考える、その場で新しいアドバイスを受けられる機会を失わないでほしい」と伝えました。



■ オンライン勉強会 (第2回) の内容

日 程	プログラム
2月2日	■ 塾生近況報告
	■ 新堂塾長・菅野先生講評

※ 新堂塾 第3回研修会

- 日 時：2021年3月24・26日
- 開催方法：Zoomミーティング

3月24・26日の第3回研修会もオンラインで開催しました。24日は、塾生が今年度の振り返りと次年度の展望を発表。新堂塾長と菅野先生が一人ずつ講評し、今後の課題を洗い出していました。

続いて、前回ペットフード事業への参加を呼びかけた塾生のビジネスパートナーである有限会社ドアーズの柴田代表取締役がその内容を説明。

「私もみなさんと同じ福祉施設の職員でしたが、利用者さんにもっといろいろな仕事の選択肢を広げたいと、会社を立ち上げました。そこで始めたのがペットフードのOEM事業です」。

現在、柴田氏は、岡山県倉吉市、姫路、岡山物流センターの3ヵ所で



障がいのある方から就労困難者と呼ばれるシングルマザーや高齢者まで幅広く雇用しています。さらに、商品の袋詰めをはじめ、さまざまな仕事を近隣の福祉施設にお願いするなど、より多くの利用者さんが参加できる仕組みを築いています。

「福祉施設の中には、企画や営業が不得意なところもあると思います。その弱みを受け持つのがドアーズです。当社名は、いろいろな方が選択し、開けることができるたくさんのドアをイメージしています。利用者さんのために、そのドアをぜひ開いてみてください」と呼びかけました。

塾生たちからは多くの質問が投げかけられ、コロナ禍でも事業拡大と利用者さんの給料増額のヒントをつかもうとする意欲が伺えました。

26日は、初日の続きで塾生たちの発表と講評からスタート。そのあと、新堂塾長が塾長施設での取り組みを例に今後の課題を講義しました。「大切なのは、利用者さんの目指す姿を明確にイメージして育成すること。それには、いままでとどのように方法を変えていくかを全職員が理解・意識し、職員も変わっていかねばなりません」。菅野先生も「まずは、事業所のメインの仕事とはなにかを決めてから、提供の仕方を考えてください。その上で、利用者さんがよりステップアップできる、効率的に動ける環境へと改善していきます。これは、5Sとは区別して進めていくようにしましょう」と解説しました。

■ 新堂塾 第3回研修会の内容

日 程	プログラム
3月24日	■ 塾生2020年度取り組みの振り返りと次年度の展望を発表
	■ ペットフード事業のご紹介と質疑応答 (有限会社ドアーズ代表取締役 社会福祉法人慶光会 理事長 柴田 智宏氏)
3月26日	■ 塾生2020年度取り組みの振り返りと次年度の展望を発表 ■ 新堂塾長・菅野先生講義

■ 新堂塾4期生 2020年度実績 (2020年4月～2021年3月)

コロナ禍でオンライン研修が中心となるので、中間報告会も実施できていない状況です。

塾生たちはそれぞれに改善を進め、この数字を出しています。

単位：円 (売上金額、平均給料) 単位：人 (支払人数)

		2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月
とびうめ ワークセンター	売上金額	3,115,453	2,828,482	3,720,649	2,934,862	2,637,005	2,585,474	3,064,615	3,362,464	2,985,365	2,867,591	2,056,809	3,271,632
	支払人数	26	26	25	26	26	24	25	27	27	29	30	30
	平均給料 (一人当たり)	23,853	22,064	24,338	28,042	26,510	28,027	28,442	25,815	25,454	27,370	28,261	32,537
とりはた玄海園 就労センター	売上金額	666,635	479,064	705,515	4,435,094	2,205,918	1,436,175	1,417,903	998,370	1,631,262	1,477,009	858,617	4,286,330
	支払人数	32	34	34	34	33	34	34	33	33	33	33	33
	平均給料 (一人当たり)	10,232	7,909	16,856	22,690	23,091	21,882	22,646	20,506	33,777	15,853	16,777	23,863
第2つくしの里	売上金額	357,292	315,714	611,084	638,586	489,935	582,437	736,165	678,050	2,317,900	1,392,806	1,867,659	1,192,758
	支払人数	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	35
	平均給料 (一人当たり)	9,843	9,915	10,603	10,337	10,533	10,759	10,995	11,004	11,269	11,241	11,185	15,889
あんずの森	売上金額	125,874	113,359	133,714	181,452	172,993	174,483	205,328	197,032	236,262	206,564	229,178	268,171
	支払人数	15	14	14	13	16	17	16	16	16	16	18	18
	平均給料 (一人当たり)	8,415	8,565	9,710	13,718	10,253	9,865	12,942	12,422	12,554	11,890	11,529	13,995
セルブ藤山	売上金額	4,120,790	2,590,940	3,306,814	3,698,386	2,843,307	3,361,792	3,710,063	3,420,361	3,481,153	3,097,676	3,345,302	3,772,323
	支払人数	46	48	51	49	49	49	49	49	49	49	49	50
	平均給料 (一人当たり)	28,397	24,799	23,340	24,293	48,587	24,293	23,170	23,170	53,061	26,530	26,530	26,000
八木園	売上金額	140,721	129,829	149,507	139,591	128,418	137,767	140,909	195,030	165,230	140,129	185,235	172,781
	支払人数	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19
	平均給料 (一人当たり)	7,296	5,714	5,714	7,452	6,572	7,108	7,776	6,724	6,488	5,838	5,979	7,832
太陽の郷	売上金額	1,226,144	1,188,206	1,491,175	1,498,313	1,226,449	1,340,405	1,313,467	982,063	1,212,819	1,121,930	1,094,050	1,954,846
	支払人数	17	17	17	17	17	17	17	16	17	17	16	16
	平均給料 (一人当たり)	30,012	29,924	29,396	28,565	29,395	27,695	28,311	30,683	30,161	30,127	28,445	73,172
ワークセンター Halle !	売上金額	1,290,394	1,077,010	1,065,514	1,296,431	1,960,545	1,880,233	1,218,273	1,780,786	2,743,336	1,995,473	1,209,814	1,305,573
	支払人数	31	31	31	31	31	31	32	32	32	32	32	33
	平均給料 (一人当たり)	22,610	22,610	23,419	23,168	41,648	22,716	25,225	22,103	45,084	21,428	20,538	46,585
東京都板橋 福祉工場	売上金額	493,001	394,814	640,073	365,883	897,370	677,204	742,849	950,098	759,692	471,166	732,231	886,794
	支払人数	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
	平均給料 (一人当たり)	13,778	11,121	17,295	6,583	23,141	17,782	18,244	21,657	18,995	12,745	18,209	21,300
ワークイン関前	売上金額	702,371	811,089	865,668	869,936	527,473	947,639	805,016	896,108	988,594	927,747	651,497	1,437,506
	支払人数	20	20	20	19	19	19	19	18	18	18	18	18
	平均給料 (一人当たり)	35,850	28,366	48,238	49,768	37,663	45,783	48,704	42,532	44,175	38,385	39,282	50,385

楠元塾 (第3期)



楠元塾は「弁当・配食サービス事業」を対象として給料増額を目指しています。塾長である(社福)キャンパスの会 楠元理事長は「自分たちのつくりたいものではなく、お客様が求める売れるメニューづくり。私たちが何のために仕事をするかといったら、利用者さんの工賃アップです。私も全力で応援します」と塾生に呼びかけました。

●塾長：(社福)キャンパスの会 理事長 楠元 洋子 氏

○略歴

2007年に(社福)キャンパスの会を立ち上げ、「障がいの重さに関係なく、一人でも多くの利用者さんに働く場とお給料を」のテーマで弁当・配食サービス事業を開始。現在1日2000食以上を販売。その他にもリネン事業、レストランの運営など、幅広く障がいのある方の働く場を創出している。また、2017年には重症心身障がい児(者)と家族のために医療的ケアもできる福祉施設『はながしま診療所』を開設した。2014年9月～2016年9月『夢へのかけ橋実践塾 楠元塾(第1期)』塾長。2017年9月～2019年9月『楠元塾(第2期)』塾長。2019年9月～『楠元塾(第3期)』塾長。第13回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞(2012年度)。

塾長の 名言

「儲けること、マネすることに、躊躇は必要ありません」

「営業や高齢者配食の経験がないからなどは、言い訳です。どうすれば売れるものを作れるか、買ってもらえるか。仲間の良いところを積極的にマネしながら、新しいことにチャレンジしていくこと。利用者さんの給料増額のために、儲けることに躊躇などしてはいけませんよ」。

楠元塾塾生：10施設 (2021年3月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容(要旨)】	【今後の方向性(入塾時)】
(NPO) Joint Joy	Joint Joy	就労継続B型・就労移行	農業・弁当	弁当を中心とした事業、100食を目標
(NPO) コミュニティ益田	かまて	就労継続B型	ウエス製造・内職・電線の皮むき・弁当・惣菜	弁当事業の拡大
(社福) 敬和会	就労支援センター ハーモニー	就労継続B型・就労移行	きのご栽培・キッチン事業 (カフェ・弁当)	弁当を中心とした事業
(NPO) にこにこ	にこにご食堂	就労継続B型	飲食店	弁当・配食サービスの開始
(社福) あしたの会	どんぐり村福祉工場	就労継続A・B型	A型…弁当、 B型…パン・クッキー	現在260食を350食へ
(社福) つわ落会	つわぶき園	就労継続B型	弁当・内職(銅線はがし、箱折り)	弁当作業環境の改善、 現在150食を300食へ
(社福) 矢吹厚生事業所	わーくる矢吹	就労継続B型・生活訓練	弁当・衣類縫製 ほか	作業環境の改善による弁当数向上
(社福) くまもと障害者 労働センター	くまもと障害者労働センター おれんじカフェ	就労継続B型・生活介護	菓子製造・弁当・カフェテリア	現在80食を250食へ
(同) エルアクト	はたらく工房	就労継続B型	お弁当、おやき製造販売・農作業	弁当・配食サービスの開始
(NPO) ともいき	就労支援センター みらいず	就労継続B型	お惣菜、お弁当製造・店頭販売	弁当・配食サービスの開始

楠元塾（第3期）活動報告

※ オンライン研修会（第1回）

- 日 時：2020年4月27日
- 開催方法：Zoomミーティング

緊急事態宣言は解除されても、新型コロナウイルスの感染拡大防止への配慮は続いています。楠元塾でも、塾生施設に集まっての勉強会や塾長視察を断念し、Zoomでのオンライン研修会へと変更しました。

「配食先がお休みになり売上がダウン。テレワークになったところには、いくつ弁当を用意してよいのかわからず混乱している」。「塾長視察の際に提案いただいた丼物が好評で、新規のお客様は獲得できているのだが、販売総数は減ってしまっている」。「弁当の注文数は増えているが、利用者さんの通所日数は不安定で対応できず、結局売上は伸びていない」。

塾生たちは、かつて経験したことのないコロナ禍という状況での不安と悩みを、近況報告で塾長に投げかけました。そんな塾生たち一人ひとりに楠元塾がアドバイス。「こういうときこそ、塾生間のつながりが生きてきます。経験が浅い塾生は、容器選びやメニュー改善をうまく進めている仲間をマネると良いでしょう。利用者さんの体調も配慮し、いままで学んできたことを見つめ直し実践してください」と呼びかけました。



■ オンライン研修会（第1回）の内容

日 程	プログラム
4月27日	■ 塾生近況報告
	■ 楠元塾長講評

※ オンライン研修会（第2回）

- 日 時：2020年10月26日
- 開催方法：Zoomミーティング

10月26日、約半年ぶりのオンライン研修会を開催。塾生たちは「高齢者用のメニュー開発が思うようにいかない」「コロナ禍で弁当をやっていた店も参入し競争が厳しくなった」「販売数は多少増えたが、利益が下がってしまった」など、苦しい状況と胸の内を報告しました。

楠元塾長は、お年寄りの顔を思い浮かべ高齢者用のメニューを考えること、原価率を45%以下にすることなど改善点をアドバイス。「売上が伸びないと嘆く塾生と、めげずに頑張っている塾生の違い。それは新しいことに挑戦する意志があるかないかです。利用者さんの給料を上げるには、あれはやったことがない、これも経験がないなど言っていられません。せっかくこの塾でやり方を学び、実践できている仲間もいるのだから、それを吸収して挑戦するしかない。自分たちの現状をしっかりと認識して頑張ってください」と伝えました。



■ オンライン研修会（第2回）の内容

日 程	プログラム
10月26日	■ 塾生近況報告
	■ 楠元塾長講評

❖ 塾長視察

- 日 時：2020年11月9日
- 場 所：合同会社エルアクト
はたらく工房 むぎのね(長野県安曇野市)

11月9日、昨年2月以来、久しぶりに塾生施設を視察することになりました。画面越しの現状報告とミーティングだけで、実践的な現場指導ができずに塾生のことを心配していた楠元塾長にとって、やっと開催できた現場視察です。

訪れたのは、長野県安曇野市で弁当とおやきを製造販売する(同)エルアクト はたらく工房「むぎのね」。ここは、蕎麦で有名な安曇野の中でも特に人気店だった蕎麦屋を居抜きで手に入れた事業所です。穂高の麓と美しい景観に囲まれ、広い庭には畑も隣接しています。「以前は、おやきしか作っていなかったのですが、来店されたお客様にもっといろいろな物を提供したいと、弁当を始めました。でもメニューをどう広げて良いかわからなくて」と塾生。

現場を視察し、試食を終えた楠元塾長は「自分たちにできるもの、作りたいものだけでは、メニューも味をなかなか改善できません。まずは調理のプロを雇うこと。その上で、見た目から美味しくする工夫を一緒にしてみても」と提案しました。

さらに「周りには、安曇野という雄大な自然や食材など、いろいろ素晴らしいものがあります。これを活かし、利用者さんに還元できるようにしてください。お客様がほしいと思える物、地域の人が買ってくれる商品を作っていかなければ、売上は伸びません。リンゴのコンポートやジャムを作って販売するのも良いですよ」と説明。他にも調理器具の置き方や手洗い方法などの衛生管理から、盛り付けやすく動きやすい配置までを細かくアドバイスしました。

「お客様は、福祉施設の商品だからではなく、美味しいからこそ買ってくれるのです。私たちは、利用者さんの給料を増額するために弁当を作っている、その原点を見失わず、一つひとつ実践していきましょう」と、参加した職員たちにも伝えました。



■ 塾長視察の内容

日 程	プログラム
11月9日	■ むぎのね 現場見学 ■ 試食・質疑応答 (職員も参加)

❖ オンライン研修会 (第3回)

- 日 時：2021年3月18日
- 開催方法：Zoomミーティング

弁当の売上拡大と利用者さんの給料増額に試行錯誤を続ける楠元塾生が、5ヵ月ぶりのオンライン研修で顔を揃えました。「新しい厨房が完成し販売数も増えてきた」、「営業日数に制限があるが1日の販売数は増えている」、「HACCP取得を目指す」などと近況を報告。先日視察したむぎのねも「専門の調理師を入れました」と前向きな報告が続きます。しかし、大半の塾生が数字的にいまひとつ伸び悩んでいます。

「みなさんは、現状を把握・計画した上で営業していますか。技術者を入れその給料を払うために、どれだけ



営業が必要かわかっていますか」と楠元塾長。「断られてもあきらめず“味を見てください」と試食してもらう。本当に美味しかったらきっと注文してもらえます。みなさんは福祉と弁当事業のプロを目指しているのです。利用者さんのために、儲けることに躊躇してはいけませんよ」と励ましました。

■ オンライン研修会（第3回）の内容

日 程	プログラム
3月18日	■ 塾生近況報告
	■ 楠元塾長講評

■ 楠元塾3期生 2020年度実績 (2020年4月～2021年3月)

コロナ禍でオンライン研修が中心となる中、塾生たちはそれぞれに改善を進め、この数字を出しています。

■ Joint Joy

項 目	入塾時の状況 (2019年10月)	2019年度 1か月平均 (10月～3月)	2020年度 1か月平均 (4月～3月)
売 上 (円)	607,610	619,428	783,530
1 日 あ た り の 個 数 (個)	41	45	60
利用者人数(人)	21	23	26
平均給料 (円)	15,880	16,619	16,276

■ かまて

項 目	入塾時の状況 (2019年10月)	2019年度 1か月平均 (10月～3月)	2020年度 1か月平均 (4月～3月)
売 上 (円)	299,710	310,868	456,632
1 日 あ た り の 個 数 (個)	29	23	40
利用者人数(人)	14	13	14
平均給料 (円)	19,151	20,089	20,347

■ 就労支援センター ハーモニー ※コロナで2020年3月～5月配食できず

項 目	入塾時の状況 (2019年10月)	2019年度 1か月平均 (10月～3月)	2020年度 1か月平均 (4月～3月)
売 上 (円)	520,244	449,362	267,552
1 日 あ た り の 個 数 (個)	68	62	29
利用者人数(人)	26	29	29
平均給料 (円)	10,581	10,548	10,305

■ どんぐり村福祉工場

項 目	入塾時の状況 (2019年10月)	2019年度 1か月平均 (10月～3月)	2020年度 1か月平均 (4月～3月)
売 上 (円)	2,103,585	2,069,512	2,383,980
1 日 あ た り の 個 数 (個)	277	285	314
利用者人数(人)	9	9	9
平均給料 (円)	35,929	37,885	39,496

■ つわぶき園

項 目	入塾時の状況 (2019年10月)	2019年度 1か月平均 (10月～3月)	2020年度 1か月平均 (4月～3月)
売 上 (円)	1,334,240	1,269,533	1,246,336
1 日 あ た り の 個 数 (個)	168	163	154
利用者人数(人)	21	26	27
平均給料 (円)	20,753	18,209	18,272

■ わーくる矢吹

項 目	入塾時の状況 (2019年10月)	2019年度 1か月平均 (10月～3月)	2020年度 1か月平均 (4月～3月)
売 上 (円)	1,270,340	1,321,622	1,355,257
1 日 あ た り の 個 数 (個)	157	163	164
利用者人数(人)	37	41	43
平均給料 (円)	20,167	22,576	35,153

■ くまもと障害者労働センター

項 目	入塾時の状況 (2019年10月)	2019年度 1か月平均 (10月～3月)	2020年度 1か月平均 (4月～3月)
売 上 (円)	596,550	589,555	741,280
1 日 あ た り の 個 数 (個)	84	84	88
利用者人数(人)	29	30	29
平均給料 (円)	34,052	31,572	30,803

■ はたらく工房

※弁当・配食サービスは2020年4月から開始

項 目	入塾時の状況 (2019年10月)	2019年度 1か月平均 (10月～3月)	2020年度 1か月平均 (4月～3月)
売 上 (円)	250,380	184,855	357,272
1 日 あ た り の 個 数 (個)	0	0	29
利用者人数(人)	23	22	23
平均給料 (円)	23,510	25,328	26,917

■ 就労支援センター みらいず ※弁当・配食サービスは2019年11月から開始

項 目	入塾時の状況 (2019年10月)	2019年度 1か月平均 (10月～3月)	2020年度 1か月平均 (4月～3月)
売 上 (円)	839,090	848,970	946,603
1 日 あ た り の 個 数 (個)	0	23	37
利用者人数(人)	16	17	18
平均給料 (円)	25,136	23,273	25,590

2020年度 「農福連携実践塾」実施報告

※ 1. 農福連携実践塾とは

農福連携という言葉は耳にしますが、その事業のあり方は地域によってもさまざまです。農福連携に取り組みたいと考えても「どのように農業をやれば良いかわからない、野菜を栽培しても売れない、加工品開発もやってみたいがノウハウがない」など、戸惑う福祉施設が多いのも実情です。そこで福祉・農業・ブランディングのエキスパートを先生に迎え、農業を事業として給料を支払い、きちんとやっていくには、具体的にどうしたら良いか実践的に学ぶ「農福連携実践塾」を開講することにしました。

2020年度は、日本全国から14塾生が参加し、農業を福祉施設の事業の柱として利用者さんの仕事の拡大と給料増額を目指します。当初は、2020年5月にスタートし2年間研修を行う予定でしたが、コロナ禍での影響を配慮して開講式を9月に変更。研修期間も2023年3月まで延長することにしました。

※ 2. 研修内容

研修会、見学会、勉強会、塾生施設の視察などを開催し、一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できる取り組みを目指します。また、塾生間での情報交換や事業の連携も行える機会を提供し、全員が給料増額の目標達成につながる効果も図っていきます。

- ・ 農業で就労、雇用して給料向上を目標とし、
半年ごとに1泊2日の宿泊研修を6回程度開講予定。
- ・ 栽培や販売など農業に関する取り組み方や改善について、事業プランを作成。
- ・ 農産品の加工商品の開発と販売ノウハウ、ブランディングについて検討します。
- ・ 先行施設の紹介や現場見学会、グループディスカッションを行いながら、
PDCAサイクルをかけて成果を出します。

※ 3. スケジュール

- 第1回 農福連携実践塾（2020年9月10日）三国観光ホテル（福井県）・開講式
（2020年9月11日）現地研修会・NPO法人ピアファーム
- 第2回 農福連携実践塾（2021年1月15日）（オンライン実施）
- 次年度計画発表会（2021年3月25・29日）（オンライン実施）



●塾長：
(一社)日本農福連携協会
理事 熊田 芳江 氏

精神保健福祉士、社会福祉士。2004年「こころん」設立。安心・安全な農作物を生産しながら養鶏場を経営。また、地元企業と6次産業化を目指す新商品の開発、地元の野菜や加工品を直売するカフェ「こころや」を運営するなど、農家・地域企業・福祉が連携できる新事業を創出し続けている。農林水産省ディスカバー農山漁村(むら)の宝第4回選定アクティブ賞受賞。第14回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞(2013年度)。



●副塾長・講師：
(NPO)ピアファーム
理事長 林 博文 氏

2008年、農業で工賃給与向上を目指すことを事業目標にピアファームを設立。2011年にNPO法人として全国数少ない認定農業者になる。農林水産省ディスカバー農山漁村(むら)の宝第4回選定。第16回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞(2015年度)。



●アドバイザー：
(株)エススリーブランディング
代表取締役 川田 勝也 氏

農福連携塾：13 施設 (2021 年 3 月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容(要旨)】	【今後の方向性】
(社福) ゆずりは会	菜の花	就労継続 B 型	野菜・米・土器洗浄・施設外就労	平均工賃 40,000 円突破へ
(社福) 八身福祉会	葉菜屋(はなや)	就労継続 B 型	水耕栽培による葉物野菜・ハーブの栽培・内職	農業を中心にした事業展開と工賃向上
(NPO) なでらの森	楓	就労継続 B 型・就労移行・多機能型	弁当調理販売・農業・内職・食品乾燥製粉加工	販売力と設備を強化、コスト削減も図り利益率を向上
(社福) 有田つくし福祉会	早月農園	就労継続 B 型	果樹・野菜等栽培、加工品製造、訪問販売	安定した農業収入、加工品のギフトセット
(株) リーフエッチ	多機能型事業所あまみん	就労継続 B 型	近隣農家手伝い・食品加工・ホテル清掃など	加工品の生産性向上・島内外への販路拡大
(社福) 郡山コスモス会	多機能型事業所キッチンコスモス	多機能型	弁当事業・施設外就労・農作業ほか	農業を軸とした事業計画・営農計画
(社福) くりのみ園	NATURAL GARDEN くりのみ	多機能型	養鶏・有機栽培の稲作・畑加工販売	新たに有機 J A S 獲得、収益高い販路開拓
(社福) こころん	こころんファーム(ここたま養鶏場)	多機能型	野菜・卵生産、直売所・カフェ、菓子製造ほか	卵の生産量と販路の拡大
(NPO) 緑活	おもや	就労継続 B 型	農園・飲食店・食品加工	支援と生産性のバランス
(社福) みなと福祉会	わーくす昭和橋	多機能型	肉まん製造販売・自然栽培農業	国産小麦の自然栽培、農業と加工
(社福) 北九州市手をつなぐ育成会	北九州市手をつなぐ育成会	多機能型	野菜、流通会社・食品加工会社へ施設外就労	工賃向上、生産性向上の具体策
(社福) まつぼっくり	まつぼっくり事業所	就労継続 B 型	清掃業務・飲食物販売・干し芋ほか	農福連携の基礎から学び、収益向上
(社福) フォーレスト八尾会	おわらの里	就労継続 B 型	食品加工・農園・菓子製造ほか	桑畑再生事業、桑茶の活用

農福連携実践塾 活動報告

塾長の名言

「私たちが日本の農業の未来を担う、そんな高い意識で臨む」

「いま日本全国の農家が、私たち福祉施設の頑張りにも期待しています。社会に認められ、必要とされるビジネスとして、農業を成功させていくノウハウをここで学びましょう。福祉施設だから、などと甘えていては、利用者さんが満足できる高い給料を支払えませんよ」。

※ 第1回農福連携実践塾（開講式・現地研修会）

● 日時：2020年9月10・11日

● 場所：三国観光ホテル(福井県坂井市)／
(NPO)ピアファーム(福井県あわら市)

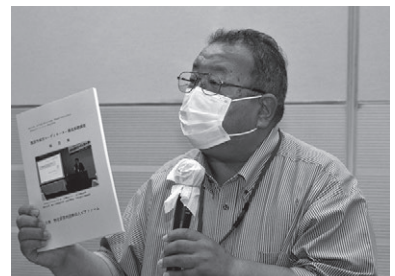
農業と福祉の連携を深め、利用者さんに働きがいのある仕事と給料増額を目指す「農福連携実践塾」。塾長は、夢へのかけ橋実践塾 熊田塾で、農業と地域産業を結びつける取り組みなどを指導された熊田芳江氏です。さらに、副塾長・講師には農業・果樹園運営のエキスパートである(NPO)ピアファーム理事長の林博文氏、アドバイザーにはさまざまな商品ブランディングを手掛ける(株)エススリーブランディング代表取締役の川田勝也氏を迎え、より実践的にステップアップできる体制にしています。

当初は5月に開始する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、4ヵ月遅れの9月10・11日に福井県あわら市で開講式を行いました。

初日は、全国から集まった14名の塾生の自己紹介からスタート。そのうち4名は、熊田塾のOBです。

熊田塾長は「これからは、福祉が日本の農業の一翼を支えていく時代になります。だからこそ、福祉の枠を超えて社会の中で必要とされる、一般の市場にマッチする事業を行わなければなりません。みなさんには、しっかりと農業とビジネスの基礎を学び、持続可能な事業の担い手として、農福の将来を担っていく。そんな強い気持ちで2年の間に成長して欲しいと願っています」と話しました。

続いて林氏は「農業は簡単に儲かるものではありません。本当に農業をやるのなら、作物を育てるだけでなく、販売、出口のことを最初に考えておかなければなりません。福祉の中の農業ではなく、農業の中に福祉があるという意識が大事です」と福祉施設が農業を行う厳しさについて解説。また川田氏は「担当者が変わっても、商品が変わっても、理念に基づいたブランドは残っていくのです」とブランドをつくることの意味や効果を伝えました。



講義のあとには、塾生がこれからの目標や計画を報告しました。それに対し「借金までして加工用の機械を入れるより、本業の農業で収益をあげるべき」「生産調整するのではなく、どう売上を伸ばすかが大事」「自分の考えが見えてこない、この塾で学ぶ意味を本当に考えていますか」など、塾長や講師から厳しい指摘も。

熊田塾長は「農福連携協会のアンケート調査では、コロナ禍で落ち込むどころか、逆に伸びたというところもたくさんありました。工夫次第で伸びる力があるのが農福連携の魅力です」と伝えました。

翌日は、あわら市にある林氏が運営するピアファームのナシ園、観光ブドウ園を見学し、豊かに実ったナシの収穫を手伝うことに。その美しく管理された果樹園を見た塾生からは、思わず感嘆の声が漏れました。農園を案内しながら林氏は「やたらと規模を広げ過ぎない、人を雇い過ぎない、素人発想で安易に6次化に手を出さない」。そして「本当に地域に必要とされる、市場につながるように進めていけば、成果は現れてきますよ」と成功のヒントを解説しました。

研修の最後には、塾生一人ひとりが昨日報告した内容に対する反省点と、改めて考える今後の取り組み方などを発表。「みなさんに厳しく指摘され、心が折れそうでしたが、林さんの果樹園を見てやる気になってきました」「現場のことばかりに目がいって、数字的な把握ができていないことに気づきました。職員みんなで見直しを図り、計画を練り直します」「作物を育てる難しさと、物を売る重要性を学びました」「大事なものは、やはり人なんだと痛感。いかに利用者さん、職員を農業のプロとして育てていくかを考えます」。また、熊田塾のOBからは「熊田塾でのあの2年間でまたやってくるのかと、まさに身の引き締まる思いです。新しい人との出会いを生かすも殺すも自分たち次第です。別の事業所の取り組みを知ることは、本当に宝になると思いますし、私たちも新たに成果を出していく意気込みで臨みます」と発表しました。

塾生たちの声を聞いた川田氏は「いろいろな会社とお付き合いをしていますが、一人で抱え込んで上手くいった例はあまりありません。周りの職員の理解を得て一緒に事業を進めていけば、リーダー一人が孤立することはない。それに塾生という仲間とのつながりも大きいです。納得できる数字を出していくのは大変ですが、頑張っていきましょう」と伝えました。熊田塾長も「みなさんの考えを聞いて、これならやっていける!と安心しました」と笑顔に。「いま世間で農福連携がもてはやされていますが、一過性の取り組みで終わっては意味がありません。私たちで一つひとつ成功事例を積み重ね、国や多くの関係者に、福祉の底力を見せつけてあげましょう」と呼びかけ、第1回目の研修会を終了しました。



■ 第1回農福連携実践塾の内容

日 程	プログラム
9月10日	■ 開講式（三国観光ホテル） ■ 塾生自己紹介 ■ 熊田塾長講話 ■ 林氏講義 ■ 川田氏講義
9月11日	■ 農園見学（ピアファーム） ■ 果樹ガイドス ■ ナシ・ブドウ収穫体験 ■ 総括・まとめ

※ 次年度計画発表会

● 日 時：2021年3月25日・29日

● 開催方法：Zoomミーティング

第3回目に入った農福連携実践塾ですが、コロナ禍のため、塾生施設に集まっていた現場実践型の研修はまだ行えていません。そこで、4月からの事業計画についてオンラインにより確認することにしました。三つの班（農業班×2、加工班×1）に分かれ2日間で、次年度の計画（作付け・売上など）について発表し、塾長、林氏にアドバイスを受けるものです。農業班には、熊田塾OBが入り、班長的な役割を担っています。

3月25日は農業班①の4塾生が、3月29日は午前中に加工班の5塾生、午後には農業班②の4塾生が参加。塾生たちは、近況報告とともに、課題になっていた目標とする月額平均給料や収支計画、そして4月からの作付け計画などを順次発表していきました。新塾生たちは、初めての収支計画の作成に戸惑いながら、目標の数字とその裏付けについて説明しますが、その根拠には不明瞭な点があります。その一方、熊田塾のOBたちは「市場相場の高い時期に合う作物を選んで作付けし、年間の売上アップを図り、毎年収入が少ない4月、10月をカバーする」「水耕栽培で安定した出荷量となるようにしているが、夏場の落ち込みは否めない。そこで花卉の栽培を加え、売上を伸ばす計画とした」などと説明。中には「15年後を見越して」との発表に「利用者さんはとても待って入られない」と厳しい指摘も。それを聞いた新塾生は、自分たちの数字の把握や計画の未熟さを実感していました。

講師の林氏は、一人ひとりの発表内容に対し、評価できる点、改善すべき点を的確に講評していきました。農業班には「コロナ禍で収入が減ったのなら、地域でもっと必要とされている作物の栽培も検討した方が良い」「収穫した作物をどこで売るとより利益が上がるか、新たなチャンネルを増やす工夫も必要」などとアドバイス。加工班には「加工で生まれたクズ野菜の廃棄ロスをなくす例として、野菜マフィンを作るなど、他の事業所と連携しているところもある」「山椒はどの部分を加工していますか。使える所がまだあるのでは。今年から新芽の販売を計画している」と提案型の話もされました。

リーダー役の熊田塾OBの塾生は「初めての作付け計画は大変だったかもしれませんが、私たちもこれを行い、現実の数字と向き合うことで、目標とする利用者さんの給料に近づいていくことができました。1年後、2年後にこの努力がきっと実りますよ」と、これからも一緒に頑張っていこうと励ましました。

熊田塾長は「まずみなさんにとって大切なのは、しっかりと計画を立てていくことです。今日は、いろいろと良い事例を見せてもらえたと思います。目標工賃をいくらに設定し、そのためにいくら収入が必要か、そのためになにをどう栽培するかなど、他の職員とも情報共有して事業計画を練り直していきましょう。その上で、PCDAサイクルを回しながら、事業所が一丸となって具体的に事業を進めていってください」と伝えました。



2021年度 年間スケジュール（予定）		菜の花											
		4月			5月			6月			7月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
菜の花 （200a（2期））	栽培	収穫・出荷						収穫			出荷		
	管理	草取り、マルチ張り、前作（ビニール）の撤去、マルチ撤去						草取り、マルチ撤去			草取り、マルチ撤去		
菜の花 （200a（3期））	栽培	収穫・出荷			収穫・出荷								
	管理	土壌改良、草取り			草取り			草取り			草取り		
プロダクション （150a（1期5期））	栽培	収穫・出荷			収穫・出荷			収穫・出荷			収穫・出荷		
	管理	草取り、マルチ撤去			草取り、マルチ撤去			草取り、マルチ撤去			草取り、マルチ撤去		

■ 次年度計画発表会の内容

日 程	プログラム
3月25日	■ 農業班① 4 塾生の近況報告・作付け計画などの発表 ■ 熊田塾長・林氏による講評
3月29日	■ 加工班 5 塾生の近況報告・年度計画などの発表 ■ 熊田塾長・林氏による講評
	■ 農業班② 4 塾生の近況報告・作付け計画などの発表 ■ 熊田塾長・林氏による講評

「自然栽培パーティ」活動報告

「無農薬・無肥料・無除草剤で安心・安全な農作物を育て、付加価値の高い商品として売上を伸ばし利用者さんの給料増額を目指す」「福祉施設の利用者さんが〴〵農福師として、これからの農業を担う主役となる」。そんなテーマを掲げて全国的な活動を展開する自然栽培パーティ※を、ヤマト福祉財団は、さまざまな角度から支援し続けています。

2020年度は、通常の活動支援の他にヤマトグループ創立100周年記念配当金を原資として、「ハレバレごはんプロジェクト」に特別支援しました。

※正式名称：(一社)農福連携自然栽培パーティ全国協議会。

※ 第5回自然栽培パーティ全国フォーラムin北海道

● 日時：2020年10月9日

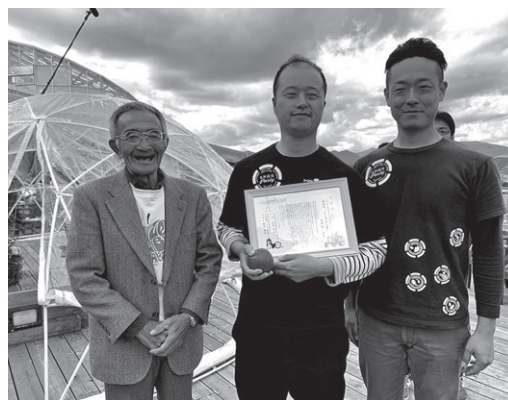
● 場所：農村公園フルーツパークにき
(北海道余市郡) ※オンライン配信

10月9日、第5回自然栽培パーティ 第5回全国フォーラムが、北海道余市郡にある「農村公園フルーツパークにき」で行われました。新型コロナウイルス感染拡大で例年のような大人数の集客は諦め、自然栽培パーティの磯部竜太理事長をはじめとする少数の運営スタッフなどで開催。その模様をオンラインで全国にライブ配信しました。山内理事長は「障がいのある方が、これからの日本の農業の未来を支えていく姿をととても頼もしく感じます」とビデオでメッセージを送信。来場できなかった全国各地で頑張るパーティの仲間たちも、VTRで元気な姿を見せてくれました。

会場には、奇跡のリングで有名な木村秋則氏と佐伯康人顧問(第15回ヤマト福祉財団小倉昌男賞・2014年度)も駆けつけ、自然栽培パーティの今後についてトークを展開。「日本で生まれた自然栽培は、世界中の人々の食生活に変革を与えるだけでなく、環境保全の観点でも期待を集めています。その活動を〴〵農福師、である障がいのある方が牽引している、というのがうれしいですね」と盛り上がりました。

農福師とは「農業に励み、楽しみ、成長する障がいのある方」の称号です。自然栽培パーティ・アワードでは、新たに農福師に選出した11名を紹介し、近隣の町より来場した受賞者には、木村氏からリングが手渡されました。

さらに、会場と全国各地に広がるメンバーや農家の方たちとオンラインで結びディスカッション。「コロナ禍になり改めて農業の素晴らしさと、みなさんにつながっている心強さを再認識しています」と、同じ目標を目指す仲間としての一体感を強めていました。



■ 第5回自然栽培パーティ全国フォーラムの内容

日程	プログラム
10月9日	■ 開会挨拶 磯部竜太理事長(自然栽培パーティ) 山内理事長 ■ 自然栽培パーティ活動報告(VTR) ■ 基調講演 「自然栽培パーティと農福連携について」木村秋則氏 ■ 全国の農福師紹介(VTR) ■ 自然栽培パーティ・アワード(農福師表彰) ■ 自然栽培のお悩み相談(オンラインディスカッション) ■ オンラインマルシェ(VTR)

※ 自然栽培パーティイベント「ハレバレごはん」プロジェクト

● 日 時：2020年9月13日～

● 場 所：北海道札幌市みのり彩園 ほか 全国各地事業所

コロナ禍で私たちの日常は大きく変化していますが、「美味しいものを食べれば心はハレバレとする」その気持ちは、いつの時代も、どのような立場の人でも変わりありません。そこで自然栽培パーティは、コロナ禍で大変な思いをしている多くの方や医療従事者などに、農福師が育てた自然栽培-の農作物で元気を贈る「ハレバレごはん」プロジェクトを開始しました。このプロジェクトは、四つの内容で構成されています。

地元親子を招いて青空の下で作物を収穫し、それを使ったプロの料理人の食事を楽しむ「畑の青空レストラン」。地元の若者や子どもたちと一緒に農作業をし、一汗流したあとにご飯を振る舞う「まかない飯レストラン」。医療関係者やシングルマザーなどに自然栽培の野菜を使ったお弁当を差し入れする「今日は、お母さんと食べよう」。さらに全国の多くの方に、自然栽培の野菜や加工品をQRコードから視聴できる応援動画とともに宅急便でお届けする「声の箱」。これらを、2020年9月から日本全国の自然栽培パーティの福祉施設と農福師が主役となり展開しました。

プロジェクトのキックオフは、9月13日、北海道札幌市みのり彩園に12組の地元親子を招待した「畑の青空レストラン」です。農福師たちは、参加者たちの作物収穫体験のガイドから料理の給仕、さらに得意のダンスや歌でおもてなしするなど大活躍。生憎の天気でしたが、参加されたみなさんは「とっても美味しくて楽しかった」と晴れやかな笑顔になりました。

日本全国の福祉施設が連携して展開する「今日は、お母さんと食べよう」では、11月に愛知県豊田市の（社福）無門福祉会が豊田地域医療センターに弁当100食をプレゼント。弁当を受け取った医療従事者からは「私たちの苦労をわかってもらえてうれしい」と返答をいただき、その様子は中日新聞でも報道されています。

また「声の箱」を受け取られた多くの方たちからも「箱を開けた途端に子どもたちが歓声を上げました」「おいしい野菜だけでなく、たくさんの愛情と元気をありがとうございます」などの喜びの返信が届いています。



■ 自然栽培パーティイベント「ハレバレごはん」プロジェクトの内容

イベント名	概 要
畑の青空レストラン (9月13日)	地元親子が自ら収穫した自然栽培の野菜で作ったプロの料理を楽しむ（北海道札幌市） [シングルマザーの親子 12組]
まかない飯レストラン (11月～)	農福師が地元の若者や子どもと農作業をし、仕事のあとは食事を振る舞う [3事業所 150食]
今日はお母さんと食べよう (11月～)	自然栽培の野菜で作ったお弁当を医療施設や子ども食堂、シングルマザーなどに 差し入れする（豊田地域医療センターなど）[7事業所 1,050食]
声の箱（9月～）	全国各地の医療従事者などに自然栽培で育てた野菜や加工品などを 農福師の応援動画（QRコード）と同梱し配達 [5事業所 574箱]

農福師たちが育てた作物で コロナ禍の日本を元気に!



豊田地域医療センターにお弁当をお届けしました

小雨の中で開催した「畑の青空レストラン」。それでも参加親子は、初めての野菜の収穫や美味しい料理を心から楽しみました

**野菜と一緒に農福師の
応援メッセージが入った「声の箱」を、
宅急便でお届け**

「コロナ禍で大変な思いをしている方たちに、自然栽培と農福師の力でエールを贈ろう」とスタートした「ハレバレごはん」。四つのプロジェクトで展開する第1弾は、9月13日に開催した「畑の青空レストラン」です。

9月13日、北海道札幌市みどり彩園に12組の地元親子を招待しました。農福師のガイドで楽しく作物の収穫体験をしたあと、畑の中に用意したテーブルへ。大空の下で自然栽培の食材を使いプロのシェフが腕を振った料理に舌鼓を打ちました。農福師たちは、給仕に加えて得意のダンスや歌で歓待。コロナ禍で疲れた心と身体を癒してもらいました。「コロナで収入も減り、子どもにもいろいろな苦労をかけています。今日は楽しく笑顔で過ごさせてもらえて、本当にありがとうございます」と参加者。農福師たちも「みんな笑ってくれて良かった。またやりたい」と手応えを感じていました。

第2弾は農福師が、地元の若者や子どもたちと一緒に農作業をし、一汗流したあとにご飯を振る舞う「まかない飯レストラン」。第3弾は、自然栽培の野菜を使ったお弁当を一人親のご家庭や子ども食堂に配達する「今日はお母さんと食べよう」。第4弾は全国の医療関係者や子ども食堂に通えなくなった子どもたちを農福師が食と声で応援。自然栽培で育てた野菜セットに応援メッセージを添えて贈る「声の箱」です。

まず、無門福祉会が自然栽培の野菜をふんだんに使ったお弁当を豊田地域医療センターにお届けしました。声の箱は、9月から北海道から南は九州までの全国各地域で展開し

ています。箱の中には、農福師たちが自然栽培で育てた野菜や加工品などをセット。畑の空気や雰囲気も味わってほしいと、同梱したリフレットにQRコードを記載し、農福師たちの応援動画を見ることができるようになっています。声の箱を受け取ったみなさんからも感謝の言葉が届き、元気な声のキャッチボールもできました。



声の箱を宅急便で受け取られた方からは「開けた途端に子どもから歓声が!」「美味しい野菜と一緒に暖かい愛情も入っていました」そんな喜びの返礼が届いています

遠くにいても心は一つ、 全国の仲間がオンラインで参加



第5回自然栽培パーティ全国フォーラムは、オンラインで全国の仲間に配信しました



コロナに負けず「すすめ！農福師」 自然栽培パーティ活動報告



技術・取り組みが向上した人にありがとう賞を、農業の楽しみを発見した人によかったね賞を、今回は11名の新しい農福師を表彰。来場者には、木村氏から奇跡のリンゴも贈られました



「配信を見て私も農福師になりたい、と思う方が増えるのではないだろうか」と山内理事長

こんなときこそ、農業をやっていて、
パーティの仲間がいて良かった！

10月9日に開催した第5回全国フォーラムは、コロナ禍のため集客は断念し、メイン会場の北海道余市郡「農村公園フルーツパーク」にきーからライブ配信しました。

ヤマト福祉財団は、第5回自然栽培パーティ全国フォーラム、ハレバレッジはんプロジェクトに助成しています。

自然栽培パーティの機部理事長は「農業をやっていると、障がいに関係なく一人ひとりに大切な役割があることがわかります」と挨拶。山内理事長も「農福師」は、農業に励み楽しみ成長する障がいのある方の称号です。そんなみなさんを主役に、パーティの活動がより広がることを願っています」とビデオレターを送りました。また全国のパーティの仲間たちも「元気に働く姿を見てほしい」とVTRで参加しています。

会場では、奇跡のリンゴの木村秋則氏と佐伯康人顧問のトークセッションを開催。5年の活動で全国に約100グループ・2000人の仲間が増えました。利用者さんの成長は目覚ましく、自然栽培の指導者となる人もそろそろ誕生しそうです」と盛り上がりました。

自然栽培パーティアワードでは、新しく選ばれた11名の農福師を紹介。来場した方には推薦者の各施設長から表彰状が手渡されました。「仲間の体調を気遣い仕事の準備まで行う姿は、まるで職員のように」「最初の頃は不安そうでしたが、いまではイキイキとあなたらしく働けるようになりましたね」など、それぞれの頼もしく成長する姿、楽しく働く姿を讃えました。

最後は、会場と8名の福祉関係者や一緒に働く農家の方たちをオンラインで結びライブトーク。「自然栽培の可能性を伝える良いモデルになろう」と全国の仲間にエールを贈りました。

※YouTubeの自然栽培パーティ公式チャンネルで、第5回全国フォーラムのライブ配信映像を公開しています

全Aネット（就労継続支援A型）事業所全国協議会の報告

ヤマト福祉財団は全Aネットの活動を継続的に支援しています

全Aネットが行う「良きA型事業所拡大支援事業」として、一昨年度構築したA型事業所の認定制度を活用し、2020年4月から3年間で100事業所を目標に認定取得をチャレンジする事業所を増やす活動をしています。また、地方でのA型事業所の拡大を目指し、認定事業の広報を目的に、就労支援セミナーを静岡、沖縄、東京の3ヵ所で行いました。

A型事業所認定制度に関する業務

申請資格は全Aネット会員とし、申請資料の精査とヒヤリング、必要に応じて事業所訪問を実施し情報を収集。第三者機関を審査委員会として公平・公正に認定を行い、2020年10月17日に、優良認定事業所として16事業所の認定表彰式を行いました。

全Aネット 就労支援セミナー

● 就労支援セミナーin静岡 / 2020年10月17日

全Aネット就労支援セミナーが「禍災を乗り越えてA型事業所の未来」と題し、静岡会場とオンラインのハイブリッドで開催。静岡会場では、財団の山内理事長が「コロナ禍におけるクロネコヤマトの満足創造経営」と題し、ヤマトグループの歴史、経営を紹介しながら、自分たちの職場をよりよく経営していくためのヒントを交えて講演を行いました。



● 就労支援セミナーin沖縄 / 2021年1月23日

沖縄と東京を結びオンラインで開催しました。厚生労働省の行政報告に続き、全Aネット久保寺理事長から、仕事の確保を目的に行う共同受注事業の紹介がありました。シンポジウムでは農林水産政策研究所の吉田行郷氏から農福連携に取り組む事業所の事例の報告。その後「ノウハウでA型は成立するか」をテーマに、3事業所の代表がそれぞれの事業所の実践や課題について、議論を交わしました。



● 就労支援セミナーin東京 / 2021年3月3日

参議院議員会館からオンラインで開催した就労支援セミナー in東京。全Aネットで以前から新しい雇用促進方法について検討してきた「障がい者みなし雇用研究会」の研究報告を行いました。パネルディスカッションではその内容から、就労支援事業所へ企業からの発注制度について様々な角度から議論しました。

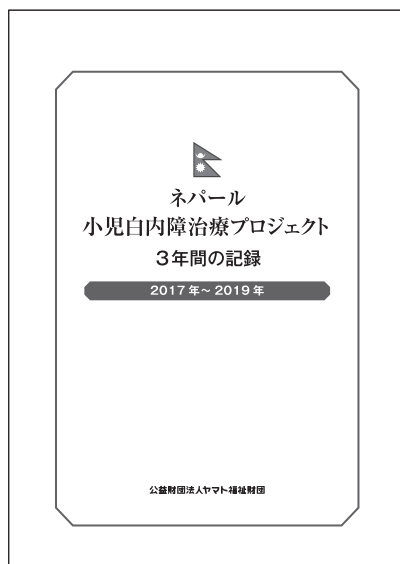
ネパール小児白内障治療プロジェクトの報告

「ネパール白内障治療プロジェクト 3年間の記録」を発刊しました

ヒカリカナタ基金とヤマト福祉財団が、ネパールの目の不自由な子どもたちに「光を届ける」活動を行いました。ヒカリカナタ基金は、第17回小倉昌男賞を受賞された竹内昌彦氏が受賞を機に設立された認定NPO法人です。

竹内氏が目の不自由なアジアの子どもたちに向けて行っている、手術費を提供するなどの活動をネパールに広げ、財団とともに「ネパール白内障治療プロジェクト」として、アイキャンプ（眼科検査）を実施しました。

眼に異常のある子どもたちには無料で手術やメガネを提供しています。その2017年度から2019年度の活動の記録を1冊にまとめ、2020年12月15日に発刊しました。



復興・再生支援事業

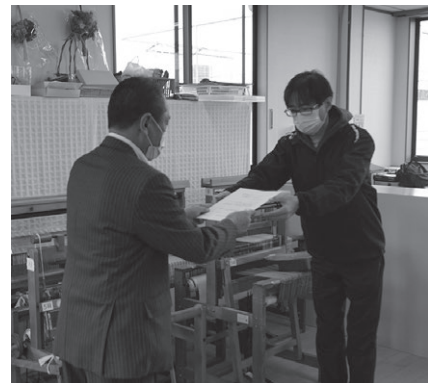
2020年7月九州豪雨災害復興支援助成金

「2020年7月豪雨」で熊本県を流れる球磨川の決壊により人吉市では広範囲が浸水しました。財団では被害の甚大だった人吉市の3件の障がい者施設に助成金を贈呈しました。

社会福祉法人白いキャンパス福祉会

- 助成対象：施設復旧改修工事
- 助成金額：4,080,000円
総工事費1/4（自己負担額分）

30～40cm程の床上浸水、送迎車両3台が浸水により廃車、エアコンも使用不可、受託作業を行っていた1階の備品や資材はすべて廃棄処分になりました。



地域生活支援センター翠

- 助成対象：面談室件作業場用
倉庫設置工事
- 助成金額：420,000円

就労に向けて利用者が、弁当配達事業やパン製造を行っています。7月豪雨では、120cmの床上浸水、流された休憩所のコンテナを助成金で購入しました。



一般社団法人Guts サンサイド事業所

- 助成対象：送迎用軽車両（中古車）購入
- 助成金額：500,000円

サンサイド事業所では、移転したばかりの唐揚げ、お惣菜製造販売を行っている店舗が被災しました。浸水した送迎用の車輛を助成しました。



障がい者のクロネコDM便配達事業 ・進捗状況・

〈取り組み経過〉

2021年2月～	クロネコDM便配達の一部を日本郵便株式会社に委託。 対象地域の障がい者施設については、ネコボスの配達業務等を検討する。 対象地域：山形県・福島県・富山県・奈良県・山口県・北海道の一部など
2019年11月～ 2020年2月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（東京都世田谷区・神奈川県横浜市港北区・愛知県豊橋市・奈良県北葛城郡広陵町）で開催。
2018年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（山口県周南市・長崎県長崎市）で開催。
2017年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国1ヵ所の施設（北海道帯広市）で開催。
2016年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（山形県鶴岡市・奈良県北葛城郡広陵町）で開催。
2016年8月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」をリニューアル。 ヤマト運輸（株）品質向上推進部と連携をとり、社内に9,080部納品。
2015年10月～11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（熊本県上益城郡益城町・神奈川県横浜市港北区）で開催。
2015年4月	新サービス「クロネコDM便」開始。 「障がい者のクロネコメール便配達事業」は「障がい者のクロネコDM便配達事業」へと変更。
2015年3月	「クロネコメール便」サービス廃止。
2014年10月～ 2015年2月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国3ヵ所の施設（東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市）で開催。
2013年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国3ヵ所の施設（神奈川県横浜市戸塚区・熊本県上益城郡益城町・埼玉県鴻巣市）で開催。
2012年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（岩手県紫波郡矢巾町・山梨県甲府市・東京都東村山市・兵庫県姫路市）で開催。
2011年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（大阪市住吉区・新潟県長岡市・宮崎県都城市・山形県鶴岡市）で開催。

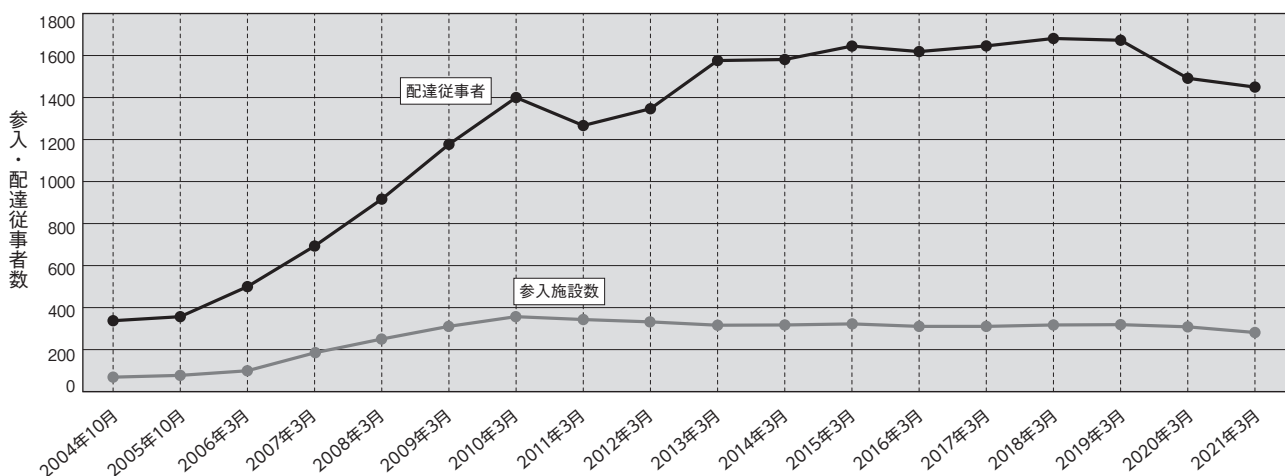
2010年12月12日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を東北福祉大学で開催。約200名の参加者を前に、岩手県・山形県・宮城県・福島県の9施設23人が発表を行った。また実学臨床教育学生が、クロネコメール便配達施設でメール便配達を一日体験した様子を発表。
2010年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催のミニ報告会）を開催。全国4ヵ所の施設（神奈川県横浜市磯子区・鹿児島県鹿屋市・福島県南相馬市・東京都江東区）で開催。
2010年7月	障がい者施設向けクロネコメール便配達実績報告システム立ち上げ。 全国の事業参入施設から毎月の実績を報告してもらい、財団本部で集計するシステムを立ち上げる。
2010年6月19日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会を大分で開催。大分県でメール便配達事業を行う9施設が参加。23人のクロネコメイトさんが、自分の工夫や、配達先での出来事を報告。
2009年12月12日	当事者33名と仙台東北福祉大学実学臨床教育推進室の学生12名、一般参加者156名による第5回メール便配達特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。
2009年8月22日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、関東地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。関東地区157名からなる参加者に、5都県10施設のクロネコメイトさん24名が、ありのままの声をお届けした。
2009年5月～6月	事業参入マニュアルブックレット、「参入の手引き・動画版DVD」の制作と社内外への配布（200枚）。本事業のさらなる啓発広報と標準化促進を図るため、障害者支援関連団体とヤマト運輸（株）全国支店長および主管支店長、ならびにメール便営業課長に向けて配布。
2009年3月16日	全国47都道府県全参入。
2008年12月3日	配達状況アンケート調査を実施。昨年にひきつづき参入施設278ヵ所・配達従事者1,012名を対象とした調査。結果、配達に携わった約16%の障がいのある人達が一般の会社に就職。
2008年11月1日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、仙台地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。東北福祉大学学園際で120名の参加者を前に、10施設21名のクロネコメイトさんが配達実践報告。さらに、実学臨床教育推進室の学生7名が「配達一日体験」で体感した働く大変さと達成感を実践報告した。
2008年9月19日	NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン主催によるソーシャル・ビジネス賞「優秀賞」受賞。社会性・事業性・革新性の観点から、社会的事業として本事業が高い評価を受ける。
2008年8月30日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、大分地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。130名の参加者が見守るなか、大分県内外から10ヵ所の施設・作業所のクロネコメイトさん27名が配達実践報告。
2008年4月	施設・作業所のクロネコメイトさんが「ヤマトファン賞」を受賞。福祉施設ドリームブイ（東京都北区）所属メイト酒井さんが、お客さまからお褒めの言葉をいただく。

2008年2月28日	(社団) 日本フィランソロピー協会による第5回企業フィランソロピー大賞・特別賞「社会共生賞」を受賞。「共に生きる」意味を実感できる就業機会を提供し、また、障がい者と健常者を差別しない社会貢献のあるべき姿が本事業で取り組まれている活動として高い評価をうける。
2008年1月	ヤマト運輸(株) 木川 眞社長が福祉施設を訪問。「現場で頑張っている皆さんの声を直接聞きたい」と、スワンカフェ&ベーカリー事業を展開している障がい者就労支援センター『らいむ』(町田市)を訪れ、メイトの皆さん(5名)との座談会参加と現場での配達状況を視察。
2008年1月	クロネコメール便配達事業〈個人別成長目標設定シート〉をテスト導入。潜在能力および顕在能力を開発し、自己実現するための育成支援ツールとして活用していただく。
2007年12月～ 2008年1月	12月26日時点での参入施設231ヵ所を対象に、各施設の配達状況アンケート調査を実施。
2007年12月	障害者週間事業イベントとして、(財) ナイスハート基金と東北福祉大学共催、宮城県仙台市後援によるクロネコメール便配達特別報告会(13名のメイトさんが発表)「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。報告会のお知らせが、11月28日朝刊・毎日新聞みやぎワイドに、河北新報12月12日朝刊に内容が掲載される。32ヵ所の施設・作業所(秋田・福島・宮城)から約100名が参加した。
2007年11月	「メール便配達リーフレット」リニューアル版発刊。沖縄、大阪、東京、青森の施設・作業所のメイトさん8名を紹介。
2007年8月	ヤマト運輸(株)が発刊するメイトさんの啓発広報誌「メイト通信」に障がいのあるメイトさんの配達状況を毎号紹介。
2007年8月	(社団) 日本フィランソロピー協会より、ヤマト運輸の社会貢献活動とメール便配達事業の経緯と活動について取材を受ける。機関誌「10・11月合併号月刊フィランソロピー」に紹介される。
2007年7月	配達従事者1,004名。事業開始から34ヵ月で1,000名を達成。
2007年6月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」作成。メール便営業部と連携をとり社内関係者に3,300部配布。
2007年4月	月刊誌「マリ・クレール」5月号特別付録(企業のCSR活動に焦点をあてた特集)にメール便配達事業が紹介される。
2007年3月	「配達事例集」リニューアル版発刊。全国11ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介。
2007年2月	イギリスのソーシャル・ファーム「リンケージ・コミュニティー・トラスト」で働く知的障がい者5名とディレクター8名の総勢13名が日本の障がい者の実情を知るために来日。クロネコメール便の配達現場を視察。
2006年12月	「障害者白書」別冊版、内閣府発行啓発広報誌「それぞれの願い」に本事業を紹介する。障害者週間(12月3日～12月9日)期間中に、各地で開催されたシンポジウム会場において配布された。(「障害者白書」テーマ、「共生する社会」について障がいのある方々ご本人や、その支援されている人々の声を取り纏めた冊子)
2006年 10月10日～12日	東京都福祉保健局・産業労働局との共催「東京の障がい者雇用・就労の新たな展開を考える」と題したシンポジウムおよび東京都第三セクター企業2社とのコラボ企画展示を開催。(ポスターパネル13点の展示と配達風景をビデオ上映)

2005年12月	障害者週間事業として、「クロネコメール便配達ポスター展」をスワンカフェ赤坂店で開催。 ・フォトグラファー平間至氏撮影によるポスターパネル13点を展示し、障がいのある人達の前向きな働く姿を紹介。 ・施設・作業所のメイトさん8名のポートレートと、事業参入全国マップを掲載した「メール便リーフレット」を配布。 (2008年12月現在 14,000部配布)
2005年10月	参入施設・作業所の“地域で働く人々の姿”を網羅した「配達カルテ」を作成。社内外に向けた事業推進のための効果的な啓発・広報資料として活用。
2005年7月	啓発広報資料として、各障がい種別全国7ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介した「配達事例集」を作成。 (2008年12月現在 16,000部配布)
2005年3月	社内外からの事業問い合わせ増加に伴い、事業案内を一元化するため、財団HPに事業案内を掲載。
2005年2月	軽四輪車で配達を希望する施設を対象に、ヤマトリースのご協力をいただき財団特別料率を設定し、軽商用リース車の斡旋をスタート。
2004年10月	民間支援四団体加盟の全施設・作業所(3,520ヵ所)に「クロネコメール便配達事業」マニュアルを配布。 WIJメール便委員会発足(日本セルフ・ゼンコロ・社会福祉協議会・きょうされんの四団体)

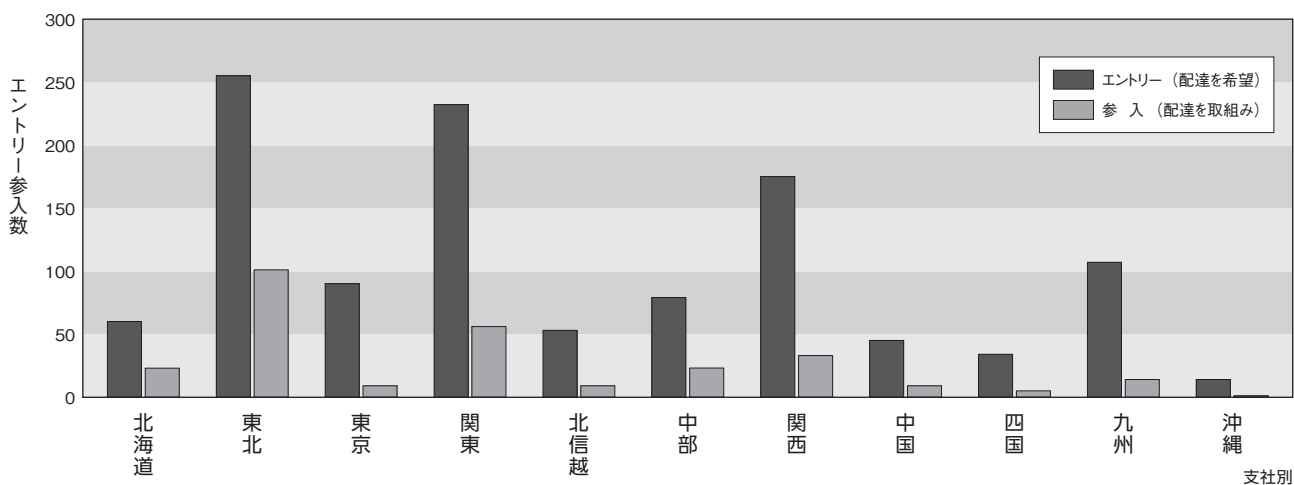
■ 進捗状況補足資料 2021年3月31日現在(図表1・2・3)

図表 1. 参入施設数/配達従事者数推移 283施設/1,453名

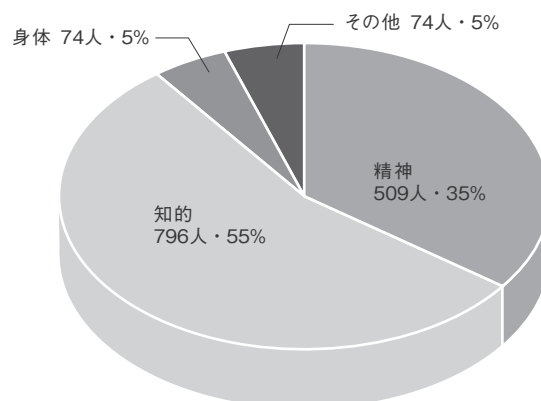


※2010年7月以降、集計方法を財団支部の報告から参入施設からの報告に変更したため実績に差が生じています。

図表 2. 全国支社別 エントリー/参入状況 1,144施設/283施設



図表 3. 障がい別配達従事者人数とその割合



『障がい者のクロネコDM便配達事業』 参入施設一覧 283施設

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
わーく・ひまわり	北海道札幌市豊平区	ふうあの家	青森県青森市
はんど&はんど	北海道札幌市手稲区	青森うとうの園	青森県青森市
自由工房	北海道札幌市手稲区	田面木の家	青森県八戸市
ヴォーグ	北海道札幌市清田区	エンジェルハウス	青森県八戸市
いちもく神居	北海道旭川市	あるふあ	青森県八戸市
ワークステーション輝	北海道虻田郡倶知安町	サポートセンターあさひ	青森県三戸郡南部町
前田の家	北海道岩内郡共和町	NPO 法人 team.Step by step NEXT	青森県弘前市
オフィスきらり	北海道釧路市	NPO 法人 team.Step by step NEXT2	青森県弘前市
はばたき	北海道釧路市	NPO 法人太陽の園	秋田県横手市
やまびこ	北海道恵庭市	ひまわり社	秋田県横手市
マイウエイ	北海道小樽市	出発の家	秋田県鹿角市
わーくさぽーと のどか	北海道上川郡比布町	いなほ作業所	秋田県秋田市
ハートフルネットワークほほえみ	北海道千歳市	ドリームカンパニーあゆみ	秋田県秋田市
ゆうび	北海道千歳市	アポロン	秋田県秋田市
きずな	北海道帯広市	Biobentos Laundry Service	秋田県鹿角市
クローバー	北海道帯広市	サンあんぐる	秋田県仙北郡美郷町
クローバーベリー	北海道河東郡音更町	愛仙	秋田県仙北市
就労継続支援事業所大作 本別町	北海道中川郡本別町	工房 J O Y さあくる	秋田県大館市
若草友の会共同作業所	北海道滝川市	長岡事業所	秋田県大館市
コミュニティハウスしずない	北海道日高郡新ひだか町	ふれあい作業所	秋田県大仙市
夕陽が丘	北海道函館市	ほっぺ	秋田県大仙市
おはよう	北海道函館市	サンワーク大曲	秋田県大仙市
美幌地域就労支援センター	北海道網走郡美幌町	しみず	秋田県大仙市
ワークセンターつばき	青森県五所川原市	男鹿浜辺の里	秋田県男鹿市
創	青森県五所川原市	コスモス	秋田県能代市
ワークハウスとわだ	青森県十和田市	根分け会	秋田県由利本荘市
ベア・ハウス	青森県上北郡おいらせ町	飯田川つくし苑	秋田県湯上市
ほっとワークはぴくる	青森県上北郡野辺地町	千厩ワークプラザ	岩手県一関市
ゆみと就労支援事業所	青森県上北郡六戸町	つくし共同作業所	岩手県釜石市
夢香房すてっぷ	青森県青森市	りんりん舎	岩手県岩手郡滝沢村

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
さくら製作所	岩手県紫波郡紫波町	ぱーとなー	宮城県仙台市青葉区
あさあけの園	岩手県紫波郡矢巾町	みんなの広場・工房きまち	宮城県仙台市青葉区
杜の家	岩手県盛岡市	ほっとスペース歩歩	宮城県仙台市泉区
盛岡杉生園	岩手県盛岡市	アトリエ・ソキウス	宮城県仙台市泉区
となんカナン	岩手県盛岡市	ポッケの森	宮城県仙台市太白区
のびやか丸	岩手県盛岡市	わらしべ舎西多賀工房	宮城県仙台市太白区
生生学舎アダージョ	岩手県盛岡市	工房けやき	宮城県仙台市太白区
太田の園	岩手県盛岡市	工房バルコ	宮城県大崎市
ぐるんぱ	岩手県盛岡市	わ・は・わ美里	宮城県遠田郡美里町
ベアー岩手	岩手県盛岡市	ビッグちゃお	山形県山形市
ぼえむの森 もとみや	岩手県盛岡市	グループ未知	山形県山形市
ゆうき社	岩手県大船渡市	デイサポートセンターじゃんぶ	山形県山形市
ポパイの家	岩手県八幡平市	手づくりクッキーおからや	山形県鶴岡市
いわて共生会あけぼの	岩手県北上市	大けやきの家	山形県東根市
ワークハウス アトリエ Sun	岩手県宮古市	フラワーコート米沢	山形県米沢市
ワークス洋野	岩手県九戸郡洋野町	チャオ	福島県いわき市
ぼるた	岩手県滝沢市	輪楽創	福島県伊達郡桑折町
やまだ共生作業所	岩手県下閉伊郡	ゆうゆうハウス	福島県河沼郡会津坂下町
HOPE GARDEN 気仙沼	宮城県気仙沼市	レーベン	福島県会津若松市
とれいん	宮城県気仙沼市	ほっとハウスやすらぎ	福島県会津若松市
七ヶ浜町あさひ園	宮城県宮城郡七ヶ浜町	ペンギン東台	福島県郡山市
みんなの夢広場	宮城県石巻市	ペンギン村共同作業所	福島県郡山市
パーラー山と田んぼ	宮城県石巻市	キャロット八山田	福島県郡山市
くじらのしっぽ	宮城県石巻市	ひまわりの家	福島県相馬市
めだかのたいよう	宮城県石巻市	みはる工房	福島県田村郡三春町
就労サポートセンターべてるの風	宮城県石巻市	ほっと悠 Ms	福島県南相馬市原町区
ワークつるがや	宮城県仙台市宮城野区	きぼうのあさがお	福島県南相馬市鹿島区
わ・は・わ若林	宮城県仙台市若林区	自立研究所ビーンズ	福島県南相馬市鹿島区
わ・は・わ沖野	宮城県仙台市若林区	ゆ〜もあ〜と	福島県福島市
L i n k s 五橋	宮城県仙台市若林区	SWELL・IN・FUKUSHIMA	福島県福島市
こころや	宮城県仙台市青葉区	あさひスマイル	福島県福島市
わ・は・わ広瀬	宮城県仙台市青葉区	来夢	東京都北区
つなぎっこ	宮城県仙台市青葉区	N a v i o けやき	東京都世田谷区

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
しごとも	東京都世田谷区	フロンティア	千葉県千葉市中央区
すまいる・フォレスト	東京都練馬区	ワークス未来千葉	千葉県千葉市美浜区
すきっぷ	東京都三鷹市	たけの子工房	千葉県千葉市緑区
結の会	東京都八王子市	就労サポートリープ	千葉県袖ヶ浦市
千川作業所	東京都武蔵野市	hana	千葉県木更津市
MEIMI・CLUB	東京都東久留米市	イエローハート	千葉県我孫子市
飛翔クラブ	東京都東村山市	i工房	千葉県我孫子市
共同作業所ふれあい	茨城県ひたちなか市	アーモ	千葉県船橋市
はあとぽっぽ	茨城県坂東市	生活工房こだま	千葉県柏市
らしん盤	茨城県取手市	すずらん	千葉県八千代市
ゆきわりそう	茨城県水戸市	ハンディジャンプ	神奈川県横浜市磯子区
やまびこ	茨城県水戸市	シャロームの家	神奈川県横浜市磯子区
第2けやき作業所	栃木県芳賀郡芳賀町	エンジョイメント	神奈川県横浜市磯子区
いっすんぼうし	栃木県小山市	いぶきの風	神奈川県横浜市戸塚区
県東ライフサポートセンター・真岡	栃木県真岡市	いろえんぴつ	神奈川県横浜市港北区
伊勢崎市桑の実福祉作業所	群馬県伊勢崎市	ひとつの芽	神奈川県横浜市泉区
若草作業所	群馬県館林市	エアリアル	神奈川県海老名市
あゆみ舎	埼玉県さいたま市大宮区	青い麦の家	神奈川県鎌倉市
つばさ共同作業所	埼玉県さいたま市中央区	茅ヶ崎第二ワーキングハウス	神奈川県茅ヶ崎市
生活支援センターこしがや	埼玉県越谷市	トライフィールドわーくあーつ	神奈川県厚木市
ゆりのき支援センター	埼玉県春日部市	セルブきたかせ	神奈川県川崎市幸区
ライトハウス	埼玉県ふじみ野市	つばさ	神奈川県川崎市高津区
熊谷たんぽぽ	埼玉県熊谷市	オリーブの木	神奈川県川崎市中原区
ひなたぼっこ	埼玉県熊谷市	ありのまま舎	神奈川県相模原市緑区
コスモス共同作業所	埼玉県鴻巣市	ハートピア湘南	神奈川県藤沢市
ぽてと工房芦山	埼玉県坂戸市	第3 藤沢ひまわり	神奈川県藤沢市
ジョブサポートはぶたえ	埼玉県深谷市	るる湘南	神奈川県藤沢市
フレンドリー	埼玉県深谷市	スイートベリー KATUYAMA	山梨県南都留郡
ワークセンターせんば	埼玉県川越市	南アルプス市松の実作業所	山梨県南アルプス市
サルース	埼玉県川越市	すみよし生活支援センター	山梨県甲府市
鶴ヶ島ゆめの園	埼玉県鶴ヶ島市	阿賀野市さくらの会作業所	新潟県阿賀野市
まあぶるひろ	千葉県千葉市花見川区	手楽来家	新潟県新潟市江南区
ワークセンター明日へのかけはし	千葉県千葉市中央区	和工房	新潟県新潟市西区

施設・事業所名	住所	施設・事業所名	住所
豆の木	新潟県新潟市西区	のぞみ共同作業所	大阪府吹田市
希望の家	新潟県長岡市	第三工房ヒューマン	大阪府吹田市
希望の里つばさ	長野県岡谷市	ドルフィンハート・ドルフィンアイ	大阪府堺市堺区
ワンステップ	長野県松本市	高槻ワーク工房	大阪府高槻市
エコーンファミリー	長野県長野市	ステラ守口	大阪府守口市
くろべ工房	富山県黒部市	オレンジの会	京都府京都市東山区
ネットワークひこばえ	静岡県静岡市葵区	S A P ふっとぷりんつ	京都府京田辺市
ウィン作業所	静岡県静岡市葵区	かがやきの杜	京都府京丹後市
ライフクリエイター + S	静岡県浜松市西区	たむたむ荘	奈良県奈良市
アネモネ	愛知県名古屋市長区	もりの実事業所	奈良県北葛城郡広陵町
さくらんぼ	愛知県名古屋市中川区	たんぼぼ作業所	和歌山県紀の川市
ファンタジスタ名古屋	愛知県名古屋市中区	岩出サンワーク	和歌山県岩出市
就労・コミュニティセンター Abbey	愛知県名古屋市昭和区	すまいる・フレンズ	兵庫県神戸市須磨区
サポートセンター being 吹上	愛知県名古屋市昭和区	たすけあい	兵庫県神戸市須磨区
のぞみ	愛知県名古屋市守山区	御影倶楽部	兵庫県神戸市東灘区
TUTTI	愛知県名古屋市東区	E n T r y	兵庫県神戸市垂水区
くうねる・イマージョ	愛知県名古屋市千種区	ひまわり作業所	兵庫県淡路市
アーム	愛知県豊田市	アミアミ	兵庫県洲本市
トレーニングスペース リンク	愛知県半田市	ぐろ〜りあ	兵庫県尼崎市
ワーキングスペースおおぶ	愛知県大府市	共同作業所ふるーる	兵庫県尼崎市
やすらぎの家	愛知県新城市	雑居工房	兵庫県尼崎市
笑い太鼓岡崎	愛知県岡崎市	しらさぎ作業所	兵庫県姫路市
輝望	愛知県豊岡市	自立の家きらら	兵庫県宝塚市
ほまれの家尾張旭店	愛知県尾張旭市	かるべの郷ドリームワークス	兵庫県養父市
株式会社ハートリフォーレ 心暖	愛知県尾張旭市	T O D A Y	兵庫県三木市
三都橋たくみワークス	愛知県北設楽郡設楽町	西宮作業所クローバー	兵庫県西宮市
垂坂山ブルーミング	三重県四日市市	てんとうか	兵庫県西宮市
サポートセンターあいぶろ	三重県四日市市	アミル甲子園口	兵庫県西宮市
グリーンリーフ	岐阜県岐阜市	元気アップみのり作業所	兵庫県相生市
ワークセンターひびき	大阪府東大阪市	ゆめの木・わかば	広島県福山市
オリーブ	大阪府大阪市平野区	三次共同作業所	広島県三次市
手琴堂	大阪府大阪市都島区	しまなみ瀬戸田夢工房	広島県尾道市
ニコサービス	大阪府大阪市城東区	オレンジ作業所	広島県尾道市

施設・事業所名	住所
あいあい作業所	広島県廿日市市
さわやか工房	山口県周南市
ボン・チャンス	鳥取県倉吉市
コミュニティーハウス楽	鳥取県倉吉市
川本ワークス	島根県邑智郡川本町
どんどこどん	徳島県坂野郡松茂町
ワークセンタースマイル	徳島県阿波市
第2 あおぞら	高知県高知市
いろえんぴつ	愛媛県松山市
ワークハウス陸美	愛媛県伊予市
さるびあ作業所	福岡県筑紫野市
ケアポートがんぎだん	福岡県福岡市西区
夢ぼけっと	福岡県福岡市南区
はあもにい	福岡県柳川市
コリアンダーの家	長崎県長崎市
どんぐり村	熊本県上天草市
らぷらんどカフェ	熊本県熊本市中央区
ビーブルステーション	大分県大分市
どんぐりの家	大分県大分市
ワーク大分すみれ会	大分県大分市
べっふ優ゆう作業所	大分県別府市
メロディー	大分県別府市
はまゆう園多機能型恒富事業所	宮崎県延岡市
SUNはぁと	宮崎県宮崎市
キャンプグリーンヒル	沖縄県うるま市

■ 2020年度 支部別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北海道	2020 年 4 月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	110	115	-5	21,922	27,927	78.5%	50.5	58.2	-7.7
	5 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	103	121	-18	19,180	24,995	76.7%	47.1	55.3	-8.2
	6 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	102	124	-22	20,719	28,157	73.6%	44.5	60.2	-15.7
	7 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	112	117	-5	19,920	26,521	75.1%	43.3	54.6	-11.3
	8 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	107	119	-12	19,671	21,500	91.5%	48.2	47.8	0.4
	9 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	105	119	-14	22,896	24,751	92.5%	53.5	54.4	-0.9
	10 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	98	113	-15	25,334	23,700	106.9%	53.3	51.1	2.2
	11 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	98	115	-17	23,351	25,126	92.9%	57.4	56.7	0.7
	12 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	96	110	-14	18,557	21,898	84.7%	45.9	50.8	-4.9
	2021 年 1 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	96	132	-36	19,565	20,762	94.2%	51.4	50.0	1.4
	2 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	86	115	-29	20,980	21,197	99.0%	55.1	52.6	2.5
	3 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	99	116	-17	21,450	20,607	104.1%	46.7	48.0	-1.3
東北	2020 年 4 月	110	110	100.0%	100.0%	0.0%	603	615	-12	101,229	126,712	79.9%	57.0	67.9	-10.9
	5 月	110	110	100.0%	100.0%	0.0%	609	615	-6	91,642	120,795	75.9%	58.6	65.2	-6.6
	6 月	112	112	100.0%	100.0%	0.0%	615	616	-1	106,622	121,997	87.4%	55.3	65.8	-10.5
	7 月	113	113	100.0%	100.0%	0.0%	615	613	2	97,598	123,537	79.0%	53.7	63.3	-9.6
	8 月	113	113	100.0%	100.0%	0.0%	642	606	36	92,979	101,592	91.5%	55.4	59.3	-3.9
	9 月	112	112	100.0%	100.0%	0.0%	657	610	47	107,357	119,738	89.7%	58.5	67.2	-8.7
	10 月	111	111	100.0%	100.0%	0.0%	657	602	55	121,144	121,812	99.5%	60.9	64.1	-3.2
	11 月	112	112	100.0%	100.0%	0.0%	693	631	62	115,585	125,216	92.3%	64.8	67.1	-2.3
	12 月	109	109	100.0%	100.0%	0.0%	636	618	18	102,681	104,246	98.5%	59.2	57.6	1.6
	2021 年 1 月	109	109	100.0%	100.0%	0.0%	623	610	13	101,372	111,320	91.1%	61.5	62.2	-0.7
	2 月	101	101	100.0%	100.0%	0.0%	563	600	-37	94,868	108,415	87.5%	62.5	64.5	-2.0
	3 月	101	101	100.0%	100.0%	0.0%	584	606	-22	117,267	109,950	106.7%	63.8	59.1	4.7
東京都	2020 年 4 月	10	8	80.0%	100.0%	-20.0%	37	65	-28	7,553	28,662	26.4%	103.5	153.3	-49.8
	5 月	10	9	90.0%	100.0%	-10.0%	50	65	-15	4,946	29,730	16.6%	57.5	171.8	-114.3
	6 月	10	7	70.0%	100.0%	-30.0%	33	65	-32	4,054	33,719	12.0%	36.5	186.3	-149.8
	7 月	10	8	80.0%	100.0%	-20.0%	39	60	-21	16,013	27,289	58.7%	132.3	154.2	-21.9
	8 月	10	8	80.0%	100.0%	-20.0%	39	59	-20	15,678	27,228	57.6%	146.5	175.7	-29.2
	9 月	10	9	90.0%	100.0%	-10.0%	46	58	-12	19,220	28,022	68.6%	126.4	183.2	-56.8
	10 月	10	9	90.0%	100.0%	-10.0%	46	64	-18	22,481	28,513	78.8%	133.8	152.5	-18.7
	11 月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	48	64	-16	22,507	29,695	75.8%	142.4	168.7	-26.3
	12 月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	48	63	-15	20,450	28,290	72.3%	132.8	167.4	-34.6
	2021 年 1 月	9	8	88.9%	100.0%	-11.1%	41	64	-23	17,069	25,612	66.6%	155.2	157.1	-1.9
	2 月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	42	63	-21	16,493	25,663	64.3%	125.9	153.7	-27.8
	3 月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	42	63	-21	19,729	26,245	75.2%	132.4	145.0	-12.6
南関東	2020 年 4 月	36	30	83.3%	76.9%	6.4%	158	168	-10	22,779	20,600	110.6%	56.8	42.1	14.7
	5 月	35	30	85.7%	74.4%	11.4%	150	170	-20	15,655	20,791	75.3%	43.4	46.1	-2.7
	6 月	35	29	82.9%	76.9%	5.9%	152	175	-23	25,260	22,359	113.0%	55.2	46.3	8.9
	7 月	32	29	90.6%	86.5%	4.1%	148	196	-48	19,482	25,807	75.5%	43.6	48.1	-4.5
	8 月	32	30	97.4%	97.4%	0.0%	147	195	-48	18,409	21,254	86.6%	44.1	44.2	-0.1
	9 月	32	31	96.9%	83.8%	13.1%	189	178	11	24,560	21,733	113.0%	52.4	49.2	3.2
	10 月	31	31	100.0%	83.8%	16.2%	196	156	40	29,384	26,167	112.3%	55.8	53.0	2.8
	11 月	30	30	100.0%	86.5%	13.5%	197	177	20	29,351	22,088	132.9%	64.5	44.5	20.0
	12 月	30	30	100.0%	86.5%	13.5%	194	216	-22	27,653	25,297	109.3%	60.0	53.6	6.4
	2021 年 1 月	30	30	100.0%	81.1%	18.9%	171	194	-23	23,816	25,213	94.5%	55.8	56.7	-0.9
	2 月	29	29	100.0%	83.8%	16.2%	189	187	2	23,278	23,452	99.3%	58.0	54.0	4.0
	3 月	29	29	100.0%	78.4%	21.6%	190	146	44	28,953	19,271	150.2%	56.7	41.1	15.6
北関東	2020 年 4 月	28	26	92.9%	93.3%	-0.5%	174	210	-36	15,517	32,860	47.2%	40.4	69.0	-28.6
	5 月	28	27	96.4%	96.7%	-0.2%	178	217	-39	16,472	29,907	55.1%	46.0	62.2	-16.2
	6 月	27	27	100.0%	86.2%	13.8%	180	173	7	21,226	21,048	100.8%	46.5	54.4	-7.9
	7 月	27	27	100.0%	93.1%	6.9%	169	194	-25	21,007	23,278	90.2%	46.1	50.1	-4.0
	8 月	27	27	100.0%	96.6%	3.4%	170	196	-26	20,199	25,847	78.1%	49.1	63.0	-13.9
	9 月	27	25	92.6%	96.6%	-4.0%	162	198	-36	20,850	27,043	77.1%	53.5	61.7	-8.2
	10 月	27	24	88.9%	93.1%	-4.2%	160	175	-15	23,017	28,185	81.7%	54.8	64.3	-9.5
	11 月	27	25	92.6%	93.1%	-0.5%	180	176	4	21,960	26,250	83.7%	56.7	61.5	-4.8
	12 月	27	25	92.6%	93.1%	-0.5%	177	177	0	21,492	23,897	89.9%	59.9	59.2	0.7
	2021 年 1 月	27	25	92.6%	96.4%	-3.8%	178	178	0	18,907	22,862	82.7%	53.3	57.9	-4.6
	2 月	27	26	96.3%	96.4%	-0.1%	178	177	1	20,169	21,929	92.0%	54.4	57.0	-2.6
	3 月	27	26	96.3%	96.4%	-0.1%	181	177	4	24,342	22,176	109.8%	52.1	51.8	0.3

■ 2020年度 支部別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコDM 便配達従事者人数			クロネコDM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北 信 越	2020年4月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	46	42	4	15,189	16,808	90.4%	79.9	96.0	-16.1
	5月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	46	43	3	11,738	14,714	79.8%	71.1	82.2	-11.1
	6月	10	10	100.0%	90.0%	10.0%	46	34	12	13,748	14,884	92.4%	72.0	89.7	-17.7
	7月	10	10	100.0%	80.0%	20.0%	46	30	16	12,823	13,341	96.1%	70.8	87.8	-17.0
	8月	10	9	90.0%	80.0%	10.0%	29	29	0	13,106	11,846	110.6%	102.4	92.5	9.9
	9月	10	9	90.0%	90.0%	0.0%	31	37	-6	14,789	13,195	112.1%	107.9	84.0	23.9
	10月	10	8	80.0%	70.0%	10.0%	25	31	-6	17,160	14,104	121.7%	134.1	115.6	18.5
	11月	10	8	80.0%	90.0%	-10.0%	25	34	-9	14,563	15,001	97.1%	117.4	99.3	18.1
	12月	10	7	70.0%	90.0%	-20.0%	18	35	-17	11,573	12,759	90.7%	108.2	85.6	22.6
	2021年1月	10	7	70.0%	90.0%	-20.0%	22	34	-12	12,567	13,363	94.0%	141.2	86.2	55.0
	2月	10	8	80.0%	90.0%	-10.0%	22	35	-13	11,849	13,298	89.1%	122.2	86.9	35.3
	3月	9	7	77.8%	90.0%	-12.2%	21	30	-9	13,073	11,868	110.2%	121.0	69.8	51.2
中 部	2020年4月	21	15	71.4%	71.4%	-4.8%	44	84	-40	8,637	16,514	52.3%	37.1	63.0	-25.9
	5月	21	15	71.4%	71.4%	0.0%	59	81	-22	10,412	14,402	72.3%	47.5	65.5	-18.0
	6月	21	15	71.4%	70.0%	1.4%	59	81	-22	12,400	15,341	80.8%	49.2	66.1	-16.9
	7月	21	15	71.4%	80.0%	-8.6%	58	87	-29	10,536	15,956	66.0%	45.4	59.3	-13.9
	8月	22	17	77.3%	78.3%	-1.0%	60	93	-33	11,192	14,397	77.7%	49.5	56.5	-7.0
	9月	22	16	72.7%	73.9%	-1.2%	61	93	-32	12,492	15,426	81.0%	51.4	60.5	-9.1
	10月	23	14	60.9%	73.9%	-13.0%	39	95	-56	9,380	16,237	57.8%	38.9	60.8	-21.9
	11月	23	16	69.6%	78.3%	-8.7%	44	95	-51	9,104	16,638	54.7%	43.8	59.2	-15.4
	12月	23	16	69.6%	69.6%	0.0%	43	82	-39	8,500	13,688	62.1%	41.3	53.5	-12.2
	2021年1月	23	17	73.9%	73.9%	0.0%	78	87	-9	11,140	13,571	82.1%	47.2	55.4	-8.2
	2月	23	16	69.6%	69.6%	0.0%	84	85	-1	11,195	13,879	80.7%	49.5	57.8	-8.3
	3月	23	17	73.9%	72.7%	1.2%	85	65	20	14,026	8,668	161.8%	52.5	35.4	17.1
関 西	2020年4月	35	23	65.7%	75.0%	-9.3%	164	162	2	15,747	27,000	58.3%	40.3	59.9	-19.6
	5月	34	21	61.8%	75.0%	-13.2%	138	173	-35	11,602	23,057	50.3%	38.9	51.7	-12.8
	6月	34	21	61.8%	77.8%	-16.0%	141	189	-48	14,830	27,202	54.5%	38.5	58.0	-19.5
	7月	34	21	61.8%	72.2%	-10.5%	143	182	-39	14,270	25,860	55.2%	37.9	55.5	-17.6
	8月	34	20	58.8%	72.2%	-13.4%	141	189	-48	13,334	22,605	59.0%	41.7	59.5	-17.8
	9月	34	20	58.8%	69.4%	-10.6%	140	162	-22	14,305	20,854	68.6%	40.6	53.1	-12.5
	10月	34	20	58.8%	75.0%	-16.2%	153	174	-21	16,432	26,137	62.9%	43.5	58.2	-14.7
	11月	34	19	55.9%	66.7%	-10.8%	149	171	-22	15,211	22,257	68.3%	47.4	58.0	-10.6
	12月	34	19	55.9%	69.4%	-13.6%	122	171	-49	14,458	21,048	68.7%	45.3	51.0	-5.7
	2021年1月	33	19	57.6%	69.4%	-11.9%	143	181	-38	13,868	22,508	61.6%	46.7	54.8	-8.1
	2月	33	18	54.5%	69.4%	-14.9%	115	182	-67	11,980	20,444	58.6%	42.6	50.4	-7.8
	3月	33	19	57.6%	66.7%	-9.1%	136	149	-13	17,004	20,209	84.1%	46.2	45.4	0.8
中 国	2020年4月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	51	52	-1	17,294	26,497	65.3%	93.0	135.9	-42.9
	5月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	50	54	-4	14,456	22,218	65.1%	90.4	120.8	-30.4
	6月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	49	52	-3	16,829	23,042	73.0%	93.0	120.6	-27.6
	7月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	49	51	-2	18,674	23,059	81.0%	104.3	118.3	-14.0
	8月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	51	51	0	16,430	18,899	86.9%	51.5	107.4	-55.9
	9月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	53	50	3	19,473	22,759	85.6%	120.2	123.7	-3.5
	10月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	49	49	0	19,446	22,131	87.9%	105.7	116.5	-10.8
	11月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	56	48	8	20,743	23,275	89.1%	121.3	127.9	-6.6
	12月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	53	50	3	16,691	20,381	81.9%	103.7	117.1	-13.4
	2021年1月	12	11	91.7%	100.0%	-8.3%	43	48	-5	13,207	21,939	60.2%	95.7	122.6	-26.9
	2月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	49	51	-2	18,979	19,571	97.0%	126.5	117.2	9.3
	3月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	27	53	-26	4,967	18,817	26.4%	41.0	105.1	-64.1
四 国	2020年4月	6	2	33.3%	50.0%	-16.7%	4	5	-1	661	2,909	22.7%	18.4	54.9	-36.5
	5月	6	2	33.3%	66.7%	-33.3%	3	7	-4	585	3,017	19.4%	18.3	43.1	-24.8
	6月	6	2	33.3%	66.7%	-33.3%	3	7	-4	802	3,574	22.4%	22.9	45.8	-22.9
	7月	6	2	33.3%	50.0%	-16.7%	2	5	-3	597	3,074	19.4%	18.7	54.9	-36.2
	8月	6	2	33.3%	33.3%	0.0%	3	4	-1	503	692	72.7%	20.1	22.3	-2.2
	9月	6	1	16.7%	33.3%	-16.7%	1	4	-3	551	609	90.5%	25.0	19.6	5.4
	10月	6	1	16.7%	33.3%	-16.7%	1	4	-3	81	654	12.4%	6.8	19.2	-12.4
	11月	6	2	33.3%	50.0%	-16.7%	2	4	-2	707	2,803	25.2%	21.4	52.9	-31.5
	12月	5	2	40.0%	33.3%	6.7%	2	3	-1	700	597	117.3%	21.9	18.7	3.2
	2021年1月	5	1	20.0%	33.3%	-13.3%	3	4	-1	72	601	12.0%	9.0	18.8	-9.8
	2月	5	1	20.0%	33.3%	-13.3%	3	3	0	54	671	8.0%	7.7	20.3	-12.6
	3月	5	1	20.0%	33.3%	-13.3%	3	3	0	54	626	8.6%	7.7	19.0	-11.3

■ 2020年度 支部別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
九州	2020 年 4 月	14	13	92.9%	100.0%	-7.1%	83	87	-4	21,140	29,169	72.5%	76.3	92.3	-16.0
	5 月	14	13	92.9%	100.0%	-7.1%	83	85	-2	19,428	26,852	72.4%	78.7	86.6	-7.9
	6 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	89	84	5	25,262	30,452	83.0%	79.4	102.5	-23.1
	7 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	89	84	5	19,924	25,358	78.6%	67.3	82.9	-15.6
	8 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	88	84	4	22,883	24,200	94.6%	85.1	87.4	-2.3
	9 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	88	82	6	23,620	27,050	87.3%	89.1	93.9	-4.8
	10 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	86	84	2	27,565	26,336	104.7%	87.2	87.8	-0.6
	11 月	14	14	100.0%	92.9%	7.1%	86	80	6	30,215	24,237	124.7%	104.6	89.8	14.8
	12 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	87	83	4	25,572	26,840	95.3%	87.0	93.8	-6.8
	2021 年 1 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	86	84	2	17,489	25,347	69.0%	70.5	89.6	-19.1
	2 月	14	13	92.9%	100.0%	-7.1%	79	84	-5	22,124	23,361	94.7%	98.3	83.4	14.9
	3 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	85	86	-1	28,372	23,874	118.8%	89.8	79.8	10.0
沖縄	2020 年 4 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	5 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	6 月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	0	0	0	0				
	7 月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	0	0	0	0				
	8 月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	0	0	0	0				
	9 月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	0	0	0	0				
	10 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	11 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	12 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	2021 年 1 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	2 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	3 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
全国	2020 年 4 月	307	273	88.9%	90.9%	-1.9%	1,474	1,605	-131	247,668	355,658	69.6%	56.5	71.8	-15.3
	5 月	304	272	89.5%	90.9%	-1.4%	1,469	1,631	-162	216,116	330,478	65.4%	55.5	68.6	-13.1
	6 月	305	272	89.2%	90.2%	-1.0%	1,469	1,600	-131	261,752	341,775	76.6%	54.7	71.1	-16.4
	7 月	303	274	90.4%	91.3%	-0.9%	1,470	1,619	-149	250,844	333,080	75.3%	54.5	65.8	-11.3
	8 月	304	275	90.5%	91.1%	-0.7%	1,477	1,625	-148	244,384	290,060	84.3%	56.7	65.1	-8.4
	9 月	303	272	89.8%	90.5%	-0.7%	1,533	1,591	-58	280,113	321,180	87.2%	62.9	70.2	-7.3
	10 月	302	267	88.4%	90.2%	-1.7%	1,510	1,547	-37	311,424	333,976	93.2%	64.4	68.9	-4.5
	11 月	301	270	89.7%	90.5%	-0.8%	1,578	1,595	-17	303,297	332,586	91.2%	69.9	70.3	-0.4
	12 月	297	266	89.6%	90.1%	-0.6%	1,476	1,608	-132	268,327	298,941	89.8%	63.4	65.1	-1.7
	2021 年 1 月	296	264	89.2%	90.1%	-0.9%	1,484	1,616	-132	249,072	303,098	82.2%	63.3	67.2	-3.9
	2 月	287	256	89.2%	90.0%	-0.8%	1,410	1,582	-172	251,969	291,880	86.3%	66.5	67.1	-0.6
	3 月	283	255	90.1%	89.3%	0.8%	1,453	1,494	-41	289,237	282,311	102.5%	62.7	59.6	3.1

2. 2020 年度収支決算報告書

貸 借 対 照 表

2021 年 3 月 31 日現在
(2020 年度)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	122,777,257	51,204,643	71,572,614
現金	519,502	193,182	326,320
普通預金	122,257,755	51,011,461	71,246,294
未収金	0	94,400	-94,400
立替金	0	116,250	-116,250
流動資産合計	122,777,257	51,415,293	71,361,964
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	6,031,986,500	6,031,986,500	0
基本財産合計	6,031,986,500	6,031,986,500	0
固定資産合計	6,031,986,500	6,031,986,500	0
資産合計	6,154,763,757	6,083,401,793	71,361,964
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	13,683,479	6,295,837	7,387,642
預り金	51,165	11,370	39,795
流動負債合計	13,734,644	6,307,207	7,427,437
負債合計	13,734,644	6,307,207	7,427,437
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	5,430,400,000	5,430,400,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,430,400,000)	(5,430,400,000)	0
(うち特定財産への充当額)	()	()	()
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	710,629,113	646,694,586	63,934,527
(うち基本財産への充当額)	(601,586,500)	(601,586,500)	0
(うち特定財産への充当額)	()	()	()
正味財産合計	6,141,029,113	6,077,094,586	63,934,527
負債及び正味財産合計	6,154,763,757	6,083,401,793	71,361,964

2020 年度正味財産増減計算書

2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	149,289,000	103,080,500	46,208,500
基本財産株式配当	149,289,000	103,080,500	46,208,500
受取会費	106,835,000	102,579,000	4,256,000
賛助会費収入	106,835,000	102,579,000	4,256,000
受取寄付金	73,435,280	67,662,304	5,772,976
寄付金収入	73,435,280	67,662,304	5,772,976
雑収益	20,931	0	20,931
雑収入	20,931	0	20,931
経常収益計	329,580,211	273,321,804	56,258,407
(2) 経常費用			
事業費	249,133,018	278,038,087	△ 28,905,069
給料手当	15,709,961	15,509,167	200,794
旅費交通費	3,673,482	17,990,736	△ 14,317,254
通信運搬費	20,011,720	15,249,663	4,762,057
備品消耗品費	709,522	694,933	14,589
図書印刷費	12,192,798	14,979,883	△ 2,787,085
事務室維持費	4,746,156	5,273,486	△ 527,330
会議費	488,968	1,921,587	△ 1,432,619
支払手数料	737,592	410,198	327,394
雑費	506,900	15,482	491,418
奨学金支給	27,000,000	22,500,000	4,500,000
助成金支給	74,420,000	80,744,871	△ 6,324,871
震災支援費	5,000,000	7,199,211	△ 2,199,211
会場費	2,346,730	7,920,941	△ 5,574,211
運営費	5,318,951	3,555,029	1,763,922
講師諸費	977,273	3,941,288	△ 2,964,015
ビデオ・パンフ作成費	710,533	7,397,199	△ 6,686,666
システム費用	3,416,886	8,621,062	△ 5,204,176
就労支援費	4,000,000	4,000,000	0
委託費	30,840,803	36,388,957	△ 5,548,154
ホームページ運営費	6,424,000	2,740,180	3,683,820
贈呈費	29,900,743	19,551,562	10,349,181
共済分担金	0	1,432,652	△ 1,432,652

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	16,512,666	17,824,303	△ 1,311,637
給料手当	6,508,149	6,040,513	467,636
福利厚生費	424,398	307,581	116,817
会議費	746,938	879,825	△ 132,887
旅費交通費	64,821	736,347	△ 671,526
通信運搬費	1,819,029	1,798,778	20,251
消耗什器備品費	238,619	650,487	△ 411,868
図書印刷費	3,657,016	3,303,834	353,182
事務室維持費	1,930,753	2,261,214	△ 330,461
事務機器賃借料	783,010	923,751	△ 140,741
賦課金	254,040	550,000	△ 295,960
支払手数料	30,893	263,973	△ 233,080
雑費	55,000	108,000	△ 53,000
経常費用計	265,645,684	295,862,390	△ 30,216,706
評価損益等調整前当期経常増減額	63,934,527	△ 22,540,586	86,475,113
基本財産評価損益等	0	△ 411,929,000	411,929,000
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	△ 411,929,000	411,929,000
当期経常増減額	63,934,527	△ 434,469,586	498,404,113
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
前期経費振替	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
有価証券償還差損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	63,934,527	△ 434,469,586	498,404,113
一般正味財産期首残高	646,694,586	1,081,164,172	△ 434,469,586
一般正味財産期末残高	710,629,113	646,694,586	63,934,527
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	△ 3,718,400,000	3,718,400,000
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	△ 3,718,400,000	3,718,400,000
当期指定正味財産増減額	0	△ 3,718,400,000	3,718,400,000
指定正味財産期首残高	5,430,400,000	9,148,800,000	△ 3,718,400,000
指定正味財産期末残高	5,430,400,000	5,430,400,000	0
III 正味財産期末残高	6,141,029,113	6,077,094,586	63,934,527

正味財産増減計算書 内訳表

2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公 1 助成事業	公 2 研修・育成	公 3 表彰事業	公 4 広報啓発等	公 5 震災助成	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	119,431,200	119,431,200	29,857,800	149,289,000
基本財産株式配当						119,431,200	119,431,200	29,857,800	149,289,000
受取会費	0					85,468,000	85,468,000	21,367,000	106,835,000
賛助会費収入						85,468,000	85,468,000	21,367,000	106,835,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	58,748,224	58,748,224	14,687,056	73,435,280
寄付金収入						58,748,224	58,748,224	14,687,056	73,435,280
雑収益	0	0	0	0	0	20,930	20,930	1	20,931
雑収入						20,930	20,930	1	20,931
経常収益計	0	0	0	0	0	263,668,354	263,668,354	65,911,857	329,580,211
(2) 経常費用									
事業費	110,104,579	38,855,021	12,058,685	77,220,287	5,621,048	5,273,398	249,133,018		249,133,018
給料手当	5,087,728	5,431,242	2,508,641	2,682,350	0	0	15,709,961		15,709,961
旅費交通費	79,264	2,365,983	1,002,632	167,585	58,018	0	3,673,482		3,673,482
通信運搬費	389,202	183,891	40,970	19,352,035	0	45,622	20,011,720		20,011,720
備品消耗品費	1,001	412,500	296,021	0	0	0	709,522		709,522
図書印刷費	424,330	192,500	2,191,560	9,384,408	0	0	12,192,798		12,192,798
事務室維持費	0	0	0	0	0	4,746,156	4,746,156		4,746,156
会議費	245,477	61,730	181,761	0	0	0	488,968		488,968
支払手数料	168,960	371,690	9,020	181,392	3,080	3,450	737,592		737,592
雑費	0	0	506,900	0	0	0	506,900		506,900
奨学金支給	27,000,000	0	0	0	0	0	27,000,000		27,000,000
助成金支給	74,420,000	0	0	0	0	0	74,420,000		74,420,000
震災支援費	0	0	0	0	5,000,000	0	5,000,000		5,000,000
会場費	4,480	444,420	1,897,830	0	0	0	2,346,730		2,346,730
運営費	0	5,318,951	0	0	0	0	5,318,951		5,318,951
講師諸費	0	815,786	0	161,487	0	0	977,273		977,273
ビデオ / パンフ作成費	0	669,900	40,633	0	0	0	710,533		710,533
システム費用	0	3,148,486	0	268,400	0	0	3,416,886		3,416,886
就労支援費	0	4,000,000	0	0	0	0	4,000,000		4,000,000
委託費	1,082,195	8,460,810	382,717	20,376,961	59,950	478,170	30,840,803		30,840,803
ホームページ運営費	0	0	0	6,424,000	0	0	6,424,000		6,424,000
贈呈費	1,201,942	6,977,132	3,000,000	18,221,669	500,000	0	29,900,743		29,900,743
管理費								16,512,666	16,512,666
給料手当								6,508,149	6,508,149
福利厚生費								424,398	424,398
会議費								746,938	746,938
旅費交通費								64,821	64,821
通信運搬費								1,819,029	1,819,029
賦課金								253,240	253,240
消耗什器備品費								238,619	238,619
図書印刷費								3,657,016	3,657,016
事務室維持費								1,930,753	1,930,753
事務機器賃借料								783,010	783,010
支払手数料								31,693	31,693
雑費								55,000	55,000
経常費用計	110,104,579	38,855,021	12,058,685	77,220,287	5,621,048	5,273,398	249,133,018	16,512,666	265,645,684

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公 1 助成事業	公 2 研修・育成	公 3 表彰事業	公 4 広報啓発等	公 5 震災助成	共通	小計		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 110,104,579	△ 38,855,021	△ 12,058,685	△ 77,220,287	△ 5,621,048	258,394,956	14,535,336	49,399,191	63,934,527
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 110,104,579	△ 38,855,021	△ 12,058,685	△ 77,220,287	△ 5,621,048	258,394,956	14,535,336	49,399,191	63,934,527
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
前期経費振替	0	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
有価証券償還差損	0	0	0	0	0	0	0		0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 110,104,579	△ 38,855,021	△ 12,058,685	△ 77,220,287	△ 5,621,048	258,394,956	14,535,336	49,399,191	63,934,527
一般正味財産期首残高	△ 109,908,407	△ 62,951,276	△ 11,611,914	△ 75,455,966	△ 7,598,580	743,533,636	476,007,493	170,687,093	646,694,586
一般正味財産期末残高	△ 220,012,986	△ 101,806,297	△ 23,670,599	△ 152,676,253	△ 13,219,628	1,001,928,592	490,542,829	220,086,284	710,629,113
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	4,344,320,000	4,344,320,000	1,086,080,000	5,430,400,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	4,344,320,000	4,344,320,000	1,086,080,000	5,430,400,000
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 220,012,986	△ 101,806,297	△ 23,670,599	△ 152,676,253	△ 13,219,628	5,346,248,592	4,834,862,829	1,306,166,284	6,141,029,113

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 計算書類は公益法人会計基準（平成 20 年 4 月 11 日、改正平成 21 年 10 月 16 日 改正平成 30 年 6 月 15 日 内閣府公益認定等委員会）を適用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法

(3) 消費税の会計処理

税込み方式

2. 会計方針の変更 該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（指定）	5,430,400,000	0	0	5,430,400,000
投資有価証券（一般）	601,586,500	0	0	601,586,500
小 計	6,031,986,500	0	0	6,031,986,500
特定資産	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	6,031,986,500	0	0	6,031,986,500

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財） （産からの充当額）	（うち一般正味財） （産からの充当額）	（うち負債に対応） する額
基本財産				
投資有価証券（指定）	5,430,400,000	5,430,400,000	0	0
投資有価証券（一般）	601,586,500	0	601,586,500	0
小 計	6,031,986,500	5,430,400,000	601,586,500	0
特定資産	—	—	—	—
小 計	—	—	—	—
合 計	6,031,986,500	5,430,400,000	601,586,500	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

重要性が希薄なため経費処理

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

2021 年 3 月 31 日 現在
(2020 年度)

(単位：円)

科 目	金 額	使用目的等
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	122,777,257	
現金	519,502	運転資金
普通預金	122,257,755	
みずほ銀行銀座中央支店 1	72,257,755	運転資金
みずほ銀行銀座中央支店 2	50,000,000	運転資金
流 動 資 産 合 計	122,777,257	
2 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券 3,554,500 株	6,031,986,500	共有財産であり
ヤマトホールディングス株式会社(株式)		うち 80%を公益保有財産として運用
株数 取得価額		益を公益目的事業に使用し、20%を
3,200,000 株 5,568,000,000 円	5,430,400,000	管理業務のための財産として運用益
354,500 株 776,195,475 円	601,586,500	を法人会計に使用している。
固 定 資 産 合 計	6,031,986,500	
資 産 合 計	6,154,763,757	
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	13,683,479	助成金他未払分
預り金	51,165	謝礼金に対する源泉所得税
流 動 負 債 合 計	13,734,644	
負 債 合 計	13,734,644	
正 味 財 産	6,141,029,113	

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細 該当なし

以 上

2021 年 5 月
公益財団法人ヤマト福祉財団

2020 年度事業報告 附属明細書

2020 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2021 年 5 月

公益財団法人ヤマト福祉財団

2020 年度収支決算書

(2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 基本財産運用収入	119,431,000	29,858,000	149,289,000	149,289,000	0
①基本財産株式配当	119,431,000	29,858,000	149,289,000	149,289,000	0
(2) 寄付金収入	52,800,000	13,200,000	66,000,000	73,456,211	-7,456,211
①運用財産	52,800,000	13,200,000	66,000,000	73,456,211	-7,456,211
(3) 賛助会費収入	76,009,000	19,002,000	95,011,000	106,835,000	-11,824,000
事業活動収入計	248,240,000	62,060,000	310,300,000	329,580,211	-19,280,211
2. 事業活動支出					
事業費支出	292,300,000	—	292,300,000	249,133,018	43,166,982
(公1) 助成事業	103,400,000	—	103,400,000	110,104,579	-6,704,579
①奨学金支給	24,000,000	—	24,000,000	27,000,000	-3,000,000
②助成金	75,000,000	—	75,000,000	74,420,000	580,000
i 福祉助成金	10,000,000	—	10,000,000	10,660,000	-660,000
ii 給料増額支援助成金	65,000,000	—	65,000,000	63,760,000	1,240,000
③諸経費	4,400,000	—	4,400,000	8,684,579	-4,284,579
(公2) 研修・育成事業	67,000,000	—	67,000,000	38,855,021	28,144,979
①セミナー事業	28,000,000	—	28,000,000	19,684,120	8,315,880
i 会場費	6,000,000	—	6,000,000	139,470	5,860,530
ii 運営費	10,000,000	—	10,000,000	5,318,951	4,681,049
iii ビデオ作成費	2,500,000	—	2,500,000	669,900	1,830,100
iv 諸経費	9,500,000	—	9,500,000	13,555,799	-4,055,799
②雇用促進事業	7,000,000	—	7,000,000	6,494,194	505,806
i システム費	500,000	—	500,000	413,600	86,400
ii 就労支援費	4,500,000	—	4,500,000	4,000,000	500,000
iii 諸経費	2,000,000	—	2,000,000	2,080,594	-80,594
③育成プロジェクト	32,000,000	—	32,000,000	12,676,707	19,323,293
i 会場費	5,000,000	—	5,000,000	304,950	4,695,050
ii 講師諸費	3,000,000	—	3,000,000	548,498	2,451,502
iii 事業改革モデル化資金	6,000,000	—	6,000,000	0	6,000,000
iv 管理会計ソフト運用費	3,000,000	—	3,000,000	2,734,886	265,114
v 諸経費	5,000,000	—	5,000,000	2,431,281	2,568,719
vi 自然栽培パーティ支援	10,000,000	—	10,000,000	6,657,092	3,342,908
(公3) 表彰事業	11,000,000	—	11,000,000	12,058,685	-1,058,685
①贈呈費	3,000,000	—	3,000,000	3,000,000	0
②会場費	2,000,000	—	2,000,000	1,897,830	102,170
③経費	6,000,000	—	6,000,000	7,160,855	-1,160,855

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
(公4) 広報・啓発等事業	100,900,000	—	100,900,000	77,220,287	23,679,713
①広報事業	60,000,000	—	60,000,000	51,977,805	8,022,195
i ホームページ運営費	9,000,000	—	9,000,000	6,424,000	2,576,000
ii 委託費	15,000,000	—	15,000,000	14,439,311	560,689
iii 諸経費	36,000,000	—	36,000,000	31,114,494	4,885,506
②啓発事業	900,000	—	900,000	782,447	117,553
i 会場費	400,000	—	400,000	0	400,000
ii 運営費	300,000	—	300,000	0	300,000
iii 諸経費	200,000	—	200,000	782,447	-582,447
③その他事業	40,000,000	—	40,000,000	24,460,035	15,539,965
i 全A ネット調査費用	5,000,000	—	5,000,000	5,001,320	-1,320
ii J D F ほか	3,000,000	—	3,000,000	3,685,750	-685,750
iii ネパール小児白内障治療 P J	5,000,000	—	5,000,000	6,078,356	-1,078,356
iv パラリンピック関連	15,000,000	—	15,000,000	0	15,000,000
v その他	12,000,000	—	12,000,000	9,694,609	2,305,391
(公5) 復興・再生支援事業	5,000,000	—	5,000,000	5,621,048	-621,048
①震災支援費	4,000,000	—	4,000,000	5,000,000	-1,000,000
②諸経費	1,000,000	—	1,000,000	621,048	378,952
共通	5,000,000	—	5,000,000	5,273,398	-273,398
①諸経費	5,000,000	—	5,000,000	5,273,398	-273,398
管理費支出	—	18,000,000	18,000,000	16,512,666	1,487,334
①人件費	—	7,000,000	7,000,000	6,508,149	491,851
②福利厚生費	—	300,000	300,000	424,398	-124,398
③旅費	—	900,000	900,000	64,821	835,179
④通信運搬費	—	1,600,000	1,600,000	1,819,029	-219,029
⑤備品消耗品費	—	300,000	300,000	238,619	61,381
⑥図書印刷費	—	3,500,000	3,500,000	3,657,016	-157,016
⑦事務室維持費	—	2,000,000	2,000,000	1,930,753	69,247
⑧事務機器賃借料	—	800,000	800,000	783,010	16,990
⑨会議費	—	900,000	900,000	746,938	153,062
⑩賦課金	—	200,000	200,000	253,240	-53,240
⑪支払手数料	—	100,000	100,000	30,893	69,107
⑫雑費	—	400,000	400,000	55,800	344,200
事業活動支出計	292,300,000	18,000,000	310,300,000	265,645,684	44,654,316
I 事業活動収支の部	-44,060,000	44,060,000	0	63,934,527	-63,934,527
II 投資活動収支の部	0	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0	0
当期収支差額	-44,060,000	44,060,000	0	63,934,527	-63,934,527

監査報告書

公益財団法人ヤマト福祉財団
理事長 山内 雅喜 殿

2021年5月24日

監事 新里 智弘 

監事 神保 清 

私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告致します。

1 監査の方法及びその内容

理事及び職員と意思の疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

- 3. 2020 年度寄付金寄贈者名簿
賛助会員数一覧**
- 4. 役員名簿**

寄付金寄贈者名簿

(敬称略：順不同)

寄付者名	寄付者名	寄付者名
西 山 木 綿 子	町 田 武	ケ ナ フ の 会

夏季カンパ

寄 付 者 名
ヤマトグループ企業労働組合連合会

賛助会員数一覧

2021 年 3 月 31 日現在

会社名	会員数	会社名	会員数
ヤマトホールディングス株式会社	267	ヤマトフィナンシャル株式会社	323
ヤマト運輸株式会社	65,886	ヤマトリース株式会社	91
沖縄ヤマト運輸株式会社	574	ヤマトクレジットファイナンス株式会社	98
ヤマトグローバルエクスプレス株式会社	998	ヤマトオートワークス株式会社	1,524
エクスプレスネットワーク株式会社	8	ヤマトオートワークス北信越株式会社	9
ヤマトダイアログ&メディア株式会社	11	ヤマトオートワークス岩手株式会社	25
ヤマトコンタクトサービス株式会社	232	ヤマトオートワークス沖縄株式会社	4
ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社	635	ボックスチャーター株式会社	22
ヤマトロジスティクス株式会社	1,031	ヤマトボックスチャーター株式会社	1,157
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン	678	ヤマトマネージメントサービス株式会社	157
ヤマトパッキングサービス株式会社	61	ヤマトマルチチャーター株式会社	391
ヤマト包装技術研究所株式会社	31	神戸ヤマト運輸株式会社	36
湖南工業株式会社	353	株式会社スワン	9
ヤマトホームコンビニエンス株式会社	1,427	ヤマトグループ健康保険組合	22
ヤマトシステム開発株式会社	1,541	社会福祉法人ヤマト自立センター	11
ヤマト Web ソリューションズ株式会社	14	ヤマト運輸労働組合	48
		合 計	77,674

役員名簿

理事

2021 年 4 月 1 日現在

NO	役職名	氏 名	役 職
1	理事長	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 取締役会長
2	理事	渡辺 修	元環境事務次官
3	同	町田 武	元三郷市教育委員会 教育委員長
4	同	西堀 利	みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問
5	同	藤掛 稔子	
6	同	森下 明利	ヤマトグループ企業労働組合連合会 会長
7	同	日浦美智江	社会福祉法人訪問の家 顧問
8	同	柴崎 憲二	元ヤマト運輸株式会社 監査役
9	同	早川 雅人	ヤマト福祉財団 常務理事

監事

NO	役職名	氏 名	役 職
1	監事	神保 清一	元ヤマト運輸株式会社 代表取締役専務執行役員
2	同	新里 智弘	公認会計士

評議員

2021 年 4 月 1 日現在

NO	役職名	氏 名	役 職
1	評議員	今野 由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長
2	同	藤井 克徳	きょうされん 専務理事
3	同	内田 五郎	元ヤマトシステム開発株式会社 代表取締役社長
4	同	吉井 毅	元新日本製鉄（現日本製鉄）株式会社 代表取締役副社長
5	同	小野崎貴志	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
6	同	川田 博	元ヤマトホールディングス株式会社 監査役
7	同	上林 孝典	元伊藤忠商事取締役副社長
8	同	玉川 雅浩	元ヤマトシステム開発株式会社 代表取締役常務執行役員

福祉助成金選考委員

2021 年 4 月 1 日現在

NO	役職名	氏 名	役 職
1	選考委員	朝日 雅也	埼玉県立大学 保健医療福祉学部社会福祉子ども学科教授
2	同	小野崎貴志	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
3	同	柴崎 憲二	元ヤマト運輸株式会社 監査役
4	同	大谷 友樹	ヤマトホールディングス株式会社 常務執行役員
5	同	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 取締役会長

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員

2021 年 4 月 1 日現在

NO	役職名	氏 名	役 職
1	選考委員	藤井 克徳	きょうされん 専務理事
2	同	渡辺 修	元環境事務次官
3	同	今野 由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長
4	同	森下 明利	ヤマトグループ企業労働組合連合会 会長
5	同	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 取締役会長

5. 2021 年度事業計画書

同 収支予算書

資金調達及び設備投資の見込みについて

2021年度 事業計画書

(自・2021年4月1日～至・2022年3月31日)

はじめに

ヤマト福祉財団は、2020年より『「自立して生活することで幸せを感じられる」を大切に』をテーマとして活動し、障がい者の働く場のロールモデルの育成と水平展開に注力してまいりました。寄付者の期待にさらに応えるべく、ロールモデルに続く方々をより幅広く支援することを念頭にパワーアップフォーラムの開催、実践塾の実施、給料増額助成金・奨学金の贈呈などの活動を行っています。コロナウイルス感染拡大により障がい者や事業所も大きな影響を受けています。このような環境に対応しながら、本年も各事業を推進いたします。

(公1) 助成事業 (182,000千円)

① 奨学金 (24,000千円)

40名の障がいのある大学生に対して奨学金を給付します。

② 助成金 (150,000千円)

・給料増額支援助成金

障がい者の給料増額につながる設備・備品購入として、障がい者施設を対象に助成します。

(130,000千円)

・障がい者福祉助成金

障がい者の福祉に資する活動（講演会・研修・文化・スポーツ等）について、障がい者団体ならびにボランティア団体を対象に助成します。

(20,000千円)

③ 諸経費（調査費・贈呈式他費用） (8,000千円)

(公2) 研修・育成事業 (52,000千円)

① セミナー事業 (20,000千円)

「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」を東京、大阪の2カ所でリアルとオンライン併用で開催します。沖縄県限定とした地域密着型パワーアップフォーラムは3カ年の最終会がコロナ問題で1年延期となりましたが、地元実行委員を中心とした3つの分科会の最終活動報告をします。

② 雇用促進事業 (7,000千円)

DM便配達事業の支援やヤマト自立センターの活動支援など、障がい者就労の拡大を図ります。

③ 育成プロジェクト (25,000千円)

より高い工賃を達成することに特に強い意欲のある施設職員を集め、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者による実践塾を3塾開講しています。集合研修が難しいため、塾長による現地視察指導を中心に小規模分散型を基本に活動します。また、コロナ禍で販売不振や活動が困難な塾生施設に対しては販売支援としての施策を実施していきます。休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する「自然栽培パーティ」の活動も引き続き支援していきます。

実践塾費用 (15,000千円)

「自然栽培パーティ」プロジェクト (10,000千円)

(公3) 表彰事業 (12,000千円)

- ① ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈 (12,000千円)
- 障がい者就労施設や一般企業等であって、障がい者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」を贈呈します。昨年度に引き続きYouTube配信も行います。

(公4) 広報・啓発等事業 (106,000千円)

- ① 広報事業 (60,000千円)
- 財団ニュースを年4回発行し、ヤマトグループ賛助会員の家庭に直接送付することで活動の浸透を図ります。また、リニューアルしたホームページを通じて広く一般に啓発広報を行います。
- ② 啓発事業 (1,000千円)
- 障がい者本人によるクロネコDM便配達報告会の開催や障がい者団体の主催する大会の共催・後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。
- ③ その他事業 (45,000千円)
- i 他団体等への活動支援 (6,000千円)
- イ) 全Aネットによる良質なA型事業所認定事業 (5,000千円)
- 前年度より始動した、A型事業所認定制度を活用し初年度20事業所、3年間で100事業所を認定する、また毎年3カ所で就労支援セミナーを開催するという全Aネット新3カ年計画「良きA型事業所拡大支援事業」の2年目を継続して支援します。
- ロ) 日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業 (1,000千円)
- 「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するNGOパラレルレポートの準備活動と国内啓発活動に対し公益財団法人助成財団センターを窓口として、他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートします。
- ii オリンピック・パラリンピック関連事業 (15,000千円)
- コロナウイルス感染問題で1年延期となったオリンピック・パラリンピック開催のため、財団が支援している障がい者奨学生や自然栽培パーティ参加施設の障がい者を中心にパラリンピックの陸上決勝および車いすバスケットボール男女競技に招待します。
- iii ネパール小児白内障眼科医療に対する協力事業 (5,000千円)
- 第17回ヤマト福祉財団小倉昌男賞を受賞した竹内昌彦氏が立ち上げたヒカリカナタ基金と共同で立ち上げた「ネパール小児白内障治療プロジェクト」。ネパールで貧困のため治療を諦めている小児白内障患者の医療事業について本年度も、ネパール西部地区の小学校女性教員のネットワークを通じて、要治療者の情報を収集し、カトマンズにて治療を行う体制とします。
- iv その他 (19,000千円)
- イ) 医療ケア児家族の支援団体立ち上げと運営支援 (8,000千円)
- 医療的ケア児者本人とその家族の医療、教育、福祉の各場面を支える団体の立ち上げと活動支援を行います。
- ロ) ヤマトグループ社員参加型の障がい者施設支援施策事業 (7,000千円)
- ヤマトグループの社会貢献の一つとして、労働組合と連携しグループ社員に障がい者施設の利用者、職員との共有の場を提供することにより、これを機会として福祉施設との地域連携を深めるための事業を行います。
- ハ) 東日本大震災から10年経過 震災支援事業振返りと現状報告 (4,000千円)
- 東日本大震災から10年が経過して 財団災害支援事業の振返りと現地の現状についての冊子を

発行します。

(公5) 復興・再生支援事業 (10,000千円)

① 復興・再生支援事業

(10,000千円)

大規模災害等で被災した障がい者就労施設の再生支援のための資金枠を確保します。

以 上

2021 年度収支予算書

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	108,057	27,014	135,071	149,289
①基本財産株式配当	108,057	27,014	135,071	149,289
(2) 寄付金収入	57,760	14,440	72,200	66,000
①運用財産	57,760	14,440	72,200	66,000
(3) 賛助会費収入	94,400	23,600	118,000	95,011
(4) 雑収入	0	0	0	0
事業活動収入計	260,217	65,054	325,271	310,300
2. 事業活動支出				
事業費支出	367,697	—	367,697	292,300
(公1) 助成事業	182,000	—	182,000	103,400
①奨学金支給	24,000	—	24,000	24,000
②助成金	150,000	—	150,000	75,000
i 福祉助成金	20,000	—	20,000	10,000
ii 給料増額支援助成金	130,000	—	130,000	65,000
③諸経費	8,000	—	8,000	4,400
(公2) 研修・育成事業	52,000	—	52,000	67,000
①セミナー事業	20,000	—	20,000	28,000
②雇用促進事業	7,000	—	7,000	7,000
③育成プロジェクト	25,000	—	25,000	32,000
i 塾	15,000	—	15,000	15,000
ii 事業改革モデル化資金	0	—	0	6,000
iii 自然栽培パーティプロジェクト	10,000	—	10,000	10,000
(公3) 表彰事業	12,000	—	12,000	11,000
(公4) 広報・啓発等事業	106,000	—	106,000	100,900
①広報事業	60,000	—	60,000	60,000
②啓発事業	1,000	—	1,000	900
③その他事業	45,000	—	45,000	40,000
i 他団体等の事業支援	6,000	—	6,000	8,000
ii パラリンピック関連	15,000	—	15,000	15,000
iii ネパール小児白内障治療 P J	5,000	—	5,000	5,000
iv その他	19,000	—	19,000	12,000
(公5) 復興・再生支援事業	10,000	—	10,000	5,000
共通	5,697	—	5,697	5,000
管理費支出	—	17,000	17,000	18,000
①人件費	—	6,000	6,000	7,000
②福利厚生費	—	300	300	300
③旅費	—	900	900	900
④通信運搬費	—	1,600	1,600	1,600
⑤備品消耗品費	—	300	300	300
⑥図書印刷費	—	3,500	3,500	3,500

(単位：千円)

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
⑦事務室維持費	—	2,000	2,000	2,000
⑧事務機器賃借料	—	800	800	800
⑨会議費	—	900	900	900
⑩賦課金	—	200	200	200
⑪支払手数料	—	100	100	100
⑫雑費	—	400	400	400
事業活動支出計	367,697	17,000	384,697	310,300
I 事業活動収支の部	-107,480	48,054	-59,426	0
II 投資活動収支の部	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0
計画収支差額	-107,480	48,054	-59,426	0
前期繰越金			59,426	0
当期収支差額			0	0

資金調達及び設備投資の見込みについて

(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。

以上